

吉野川高水防御工事に関する書類
(明治44年～昭和2年)

[原 本 印 刷 版]

収第三三二号

明治四十四年三月八日

予算書発送ノ件

四十四年度吉野高梁両川改修工事費増額ニ対スル予算書提出ノ儀土木局長ヨリ別紙ノ通り照会相成候間左案ヲ以テ発送可然ヤ相伺候

案

四十四年度吉野高梁両川改修工事費年度割増加並繰延額ニ対スル予算書提出ノ儀本月七日付土第二〇一号ノ内ヲ以テ御照会ノ趣了承別紙二冊及提出候也

月 日

所長

土木局長宛

土第二〇一号ノ内

四十四年度吉野川改修費年度割増加額百万円ノ内訳曩ニ電報御申越相成候處右増加内訳予算書調製御差出相成度又四十四年度高梁川改修工事ハ既定年度割額ノ外四十四年度ヨリノ繰延額九万五千百七拾貳円拾六錢四厘ヲ支出シ工事ヲ施行スルモノトシ右繰延額ニ対スル目論見予算書此際御提出相成度此段照会候也

明治四十四年三月七日

内務省土木局長法学博士 水野鍊太郎

内務省大阪土木出張所長 工学博士 沖野忠雄 殿

内務省土第七四〇号ノ内

吉野川改修工事ハ明治四十四年度以降既定工費年度割ヲ別表ノ通り変更シ施行ノコトニ決定相成候条右様御承知相成度依命此段及通牒候也

明治四十四年四月五日

内務省土木局長 法学博士 水野鍊太郎

内務省大阪土木出張所長 工学博士 沖野忠雄 殿

吉野川改修費44年度以降變更年度割表

年 度	金 額
44年度	1 650 000 円
45年度	550 000
46年度	450 000
47年度	400 000
48年度	500 000
49年度	550 000
50年度	500 000
51年度	500 000
52年度	500 000

年 度	金 額
53年度	500 000 円
54年度	500 000
計	6 600 000

内務省土第三三四七号ノ内

去四十二年度ニ於テ吉野川改修費ヨリ信濃川改修費ヘ流用セル金四拾四万円之内金参拾万円今回返戻之儀新潟土木出張所ヨリ申出有之戻入ノコトニ決定相成候条右様承知相成度此段及通牒候也

明治四十四年十二月二十七日

内務省土木局長 法学博士 水野鍊太郎

内務省大阪土木出張所長 中原貞三郎 殿

内務省土第九八〇号

明治四十五年度高梁川吉野川及淀川下流改良工事及淀川附属物維持並淀川流域砂防工事義ハ客年五月三十日発第二一五号御提出ニ係ル目論見書ノ通施行可相成此段及通牒候也

明治四十五年三月三十日

内務省土木局長 法学博士 水野鍊太郎

内務省大阪土木出張所長 中原貞三郎 殿

発第二二七号

明治四十五年六月十二日

工事予算書提出ノ件

四十六年度直轄工事予算書左案ヲ以テ本省大臣ヘ進達可然ヤ相伺候

案

来四十六年度当所直轄河川工事予算書別冊提出候間施行御認可相成度此段稟請候也

追テ各川既定予算金ト仕掛見込金差引表別紙添付致シ候

年月日

所 長

本 省 大 臣 宛

目 録

- 一. 吉野川改修工事予算書 壹冊
- 一. 高梁川改修工事予算書 壹冊
- 一. 淀川下流改修工事予算書 壹冊
- 一. 淀川付属物維持費予算書 壹冊
- 一. 淀川流域砂防工事予算書 壹冊
- 以上

吉野川外二川工費差引表

名 称	吉 野 川	高 梁 川	淀川下流
44 年度ヨリ越	1 194 000 円	475 000 円	553 000 円
45 年度予算令達	550 000	600 000	530 000
計	1 744 000	1 075 000	1 083 000
45 年度仕掛見込金差引残(不足)	1 852 000	602 000	545 000
46 年度既定予算高	108 000	473 000	538 000
	450 000	500 000	430 000
計	342 000	973 000	968 000
46 年度仕掛見込金	660 000	690 000	640 000
差引残(不足)	318 000	283 000	328 000

備 考

四十四年度ヨリ越金ハ残物品ノ価格ヲ合併シアルニヨリ現金越高トハ符合セズ

吉野川不足金ハ四十五年度高梁川工費ヨリ流用セシ金参拾万円ヲ以テ補充スルノ見込ニツキ高梁川残金ハ余裕生セズ

淀川下流改修費残金ノ内金参拾万円仙台出張所へ流用ノ見込ナリヲ得テ而シテ費用ヲ表示スルニ如斯変更計画ハ其費用ト此ニ於テモ亦之ヲ減少スルノ利益ヲ生スルヲ見ル以上ノ理由ナルヲ以テ決定ノ計画ハ今之ヲ変更セントス

- (1) 分水ヨリ起ル困難ト危険トヲ除キ得ヘシ
- (2) 本流ニ対スル設備ヲ省キ得ルヲ以テ著シク堤防ノ延長ヲ減シ維持上ノ利益多大ナルヘシ
- (3) 本流ニ対スル時々ノ浚渫ヲ要セス此費用ヲ省クヘシ
- (4) 本流筋ニ於ケル用悪水路ハ当然改良セラルヘシ
- (5) 本流筋ハ相当川幅ニ整理シ得ヘキヲ以テ橋梁其他直接間接ニ利益ヲ受ケルコト多カルヘシ

而シテ此変更ニ因リテ生スル費用ヲ比較スルニ運河開削費ハ石堤築造ニ相当シ別宮川嵩置浚渫費ハ本流堤防費ヲ以之ヲ相殺スルコト

是迄小規模ノ浚渫ハ幾回カ之ヲ施行セリ此處タルヤ石堤築造ノ後ニ於テハ啻ニ其程度軽減セサルノミナラス却テ之ヲ増加セシメントス

以上ノ弊害アルヲ以テ本計画ハ之ヲ変更シ倅ニ別宮川ハ既設ノ工事シ多少ハ嵩置ト浚渫トヲ加フルニ於テハ又五十万ノ洪水ヲシテ容易ニ疎通セシムルコトヲ得ルヲ以テ本流ハ全ク之ヲ遮断シ之ニ代フルニ佐藤塚ノ上方ヨリ斜メニ本流ヲ連結スル運河ヲ開削シ以テ運輸灌漑ノ便ヲ図リ又時々壱万迄ノ水量ヲ放流シテ流末ニ停滯スヘキ塩分ヲ洗條セシメントス如斯変更スルニヨリ生スル利益前ノ主ナルモノヲ挙クレハ変更セサルヘカラス

一. 本計画ニ於テハ十万ノ洪水量ハ之ヲ本流ニ放流セント定メタルモ此水量ヲシテ快通セシメントハ堤防ノ新設嵩置腹付ノ工事ヲ施ササルヘカラス而シテ之ニ要スルノ費用亦僅少ニ非ラサルナリ而モ本計画ハ此設備ヲ認メサルノ欠点アリ

二. 加之如斯洪水ヲ一定ノ量ニ分派セントスルハ水理ノ計算上容易ナルヘキモ之ヲ實際ニ施スニ當ラハ往々甚シキ齟齬ヲ来スノ場合アリテ其実行ノ困難ナルニ随テ大ナル危険ヲ伴フノ虞アリ

三、從來本流ハ洪水毎ニ其口ニ土砂堆積シ動モスレハ水路ヲ閉塞セラレントスルノ傾キアルヲ以テ吉野川改修工事ハ既定ノ計画ニ從ヒ逐次之ヲ施行シ来リシニ別宮川分派本口ニ(第十堰上方)於ケル工事ニ於テ其計画ヲ變更スルノ必要ヲ發見セリ。則チ從來ノ計画ニ依レハ吉野川洪水量ハ之ヲ五十万立方尺トシ其内四十万ハ之ヲ別宮川ニ放流シ只其残十万ヲ採テ之ヲ本流ニ派シ流サシメントス故ニ本流ニ對シテハ只此分派ヲシテ容易ナカラシメンカ為メニ其口(第十堰上方)ニ於テ洗堰石堤ヲ築造スルニ止メ其他何等ノ設備モ之ヲ施行センコトトス

費 目	元 計 画	變更計画
浚 渫 費	1 520 000 円	1 820 000 円
堤 防 費	360 000	168 000
小 計	1 880 000	1 988 000
地計買上費	360 000	—
備 品 費	—	100 000
小 計	360 000	100 000
合 計	2 240 000	2 088 000

發第二〇八号

大正四年七月十六日

吉野川改修設計變更通知ノ件伺

案

吉野川改修工事設計變更ノ義曩キニ別紙説明書添付本省大臣へ稟請候處土木局長ヨリ別紙ノ通り許可通牒有之候間心得ノ為メ送付ス

所 長

別紙

内務出士第三七号

大正四年八月二十六日

小橋内務省土木局長

青木大阪土木出張所長殿

吉野川改良工事計画變更之件通牒

客月十六日發第二〇八号稟請標記ノ件御申出之通り變更施行ノ義認可相成候
追テ運河開削設計書其他變更計画ノ大体ノ設計書及図面御差出相成度

内務省訓第四九六号

内務省大阪土木出張所

(写)

大正四年度歳出臨時部治水事業費ノ款河川費ノ項高梁川改修費及吉野川改修費ノ両目へ各金拾万円ヲ増額シ仕掛命令ヲ其ノ所長ニ委任ス

右訓令ス

大正四年九月十六日

内務大臣 法学博士 一木喜徳郎

吉野川改修費改定年度別表

年 度	金 額
大正五年度	400 000 円
大正六年度	300 000
大正七年度	700 000
大正八年度	750 000
大正九年度	800 000
大正十年度	630 000
計	3 580 000

発第二〇八号

大正四年七月十六日

吉野川改良工事計画変更施行ノ義ニ付伺

吉野川改良工事ハ去ル明治四十年年度ヨリ既定ノ計画ニ従ヒ逐次施行致シ来リ候處其後精密ナル実測ト調査ノ結果別紙設計変更説明書ニ述ブルガ如ク計画変更ノ必要ヲ認メ候間御認可相成度此段稟請候也

所 長

本省大臣宛

先般御談示有之候吉野川計画変更ノ件別紙ノ通提出候間御一覽ノ上御呈支有之候上御提出相成度此旨申進候也

所 長

技 監 宛

吉野川改修工事設計変更説明書

吉野川改修工事ハ既定ノ計画ニ従ヒ逐次之ヲ施行シ来リシニ別宮川分派本流口ニ(第十堰上方)於ケル工事ニ於テ其計画ヲ変更スルノ必要ヲ発見セリ。則チ従来ノ計画ニ依レハ吉野川洪水量ハ之ヲ五十万立方尺トシ其内四十万ハ之ヲ別宮川ニ放流シ只其残十万ヲ採テ之ヲ本流ニ派シ去ラシメントス故ニ本流ニ対シテハ唯此分派ヲシテ容易ナラシメンカ為メニ其口(第十堰上方)ニ於テ堰石堤ヲ築造スルニ止メ其他何等ノ設備モ之ヲ変更セサラントス。然ルモ工事著手後更ニ本流ニ就テ十分ノ調査ト精密ノ考覈トヲ遂クルニ此計画ハ左ノ三点ニ於テ之ヲ変更セサレヘカラス

- 一、本計画ニ於テハ十万ノ洪水量ハ之ヲ本流ニ放流セント定メタルモ此水量ヲシテ快通セシメントニハ堤防ノ新設嵩置腹付ノ工事ヲ施ササヘルカラス而シテ之ニ要スルノ費用亦僅少ニ非ラサルナル而モ本計画ハ此設備ヲ認メサルノ欠点アリ
- 二、加之如斯洪水ヲ一定ノ量ニ分派セントスルハ水理ノ計算上容易ナルヘキモ之ヲ實際ニ施スルニ当テハ往々甚シキ齟齬ヲ来スノ場合アリテ其実行ノ困難ナルニ随テ大ナル危険ヲ伴フノ虞レアリ

三、從來本流ハ洪水毎ニ土砂堆積シ屢々水路ヲ閉塞スルノ傾キアルヲ以テ是迄小規模ノ浚渫ハ幾回カ之ヲ施行セリ此虞タルヤ石堤築造ノ後ニ於テハ畚ニ其程度ヲ輕減セサルノミナラス却テ之ヲ増加セシメントス

以上ノ弊害アルヲ以テ本計画ハ之ヲ變更シ倖ニ別宮川ノ既設ノ工事ニ多少ノ嵩置ト浚渫トヲ加フルニ於テハ又五十万ノ洪水ヲシテ容易ニ疎通セシムルコトヲ得ルヲ以テ本流ハ全ク遮斷シ之ニ代フルニ佐藤塚ノ上方ヨリ斜メニ本流ニ連結スル運河ヲ開削シ以テ運輸灌漑ノ便ヲ図リ又時々壺万疋ノ水量ヲ放流シテ流末ニ停滯スヘキ塩分ヲ洗滌セシメントス如斯變更スルニヨリ生スル利益ノ主ナルモノヲ挙クレハ

- (1) 分水ヨリ起ル困難ト危険トヲ除キ得ヘシ
- (2) 本流ニ對スル設備ヲ省キ得ルヲ以テ著シク堤防ノ延長ヲ減シ維持上ノ利益多大ナルヘシ
- (3) 本流ニ對スル時々ノ浚渫ヲ要セス此費用ヲ省クヘシ
- (4) 本流筋ニ於ケル用水路ハ当然改良セラルヘシ
- (5) 本流筋ハ相当川幅ニ整理シ得ヘキヲ以テ橋梁其他直接間接ニ利益ヲ受ケルコト多カルヘシ

而シテ此變更ニ因リテ生スル費用ヲ比較スルニ運河開削費ハ石堤築造ニ相当シ別宮川嵩置浚渫ハ本流堤防費ヲ以テ之ヲ相殺スルコトヲ得ヘシ而シテ今運河開削費ト石堤築造費トヲ省キ其他ノ費用ヲ表示スルニ

費 目	元 計 画	變更計画
浚 渫 費	1 520 000 円	1 820 000 円
堤 防 費	360 000	168 000
小 計	1 880 000	1 988 000
地計買上費	360 000	—
備 品 費	—	100 000
小 計	360 000	100 000
合 計	2 240 000	2 088 000

如斯變更計画ハ其費用ノ点ニ於テモ亦之ヲ減少スルノ利益ヲ生スルヲ見ル
以上ノ理由ナルヲ以テ既定ノ計画ハ今之ヲ變更セントス

内務出士第三七号
大正四年八月二十六日

小橋内務省土木局長

青木大阪土木出張所長殿

吉野川改良工事計画変更之件通牒

客月十六日発第二〇八号稟請標ノ件御申出之通り変更施行ノ義認可相成候
追テ運河開削設計書其他変更計画ノ大体ノ設計書及図面御差出相成度

発二四二号
大正五年七月二十五日

設計書及図面送付ノ件

吉野川改良工事計画変更ノ結果第十運河並樋門設置ノ事ニ相成候處該設計ニ関スル大体ノ設計並ニ図面送付方別紙ノ通り土木局長ヨリ照会ニツキ左案ヲ以テ回答可然也相伺候

案

吉野川運河開削設計書及図面送付ノ儀客年八月二十六日出土第三七号追書及去月二十三日付乙第三五〇号ヲ以テ御照会ノ趣了承就テハ左記ノ通り及送付候也

月 日

所 長

土木局長 宛

記

- 一 第十運河平面図
- 二 第十樋門畧図
- 三 運河付近吉野川平面図
- 四 運河及樋門設計予算書

乙第三五〇号
大正五年六月二十三日

小橋内務省土木局長

青木大阪土木出張所長殿

吉野川改修計画変更ニ関スル件照会

客年七月十六日発第二〇八号御稟申ニ係ル標記ノ件同八月二十六日出土第三七号ヲ以テ認可ノ旨及通牒候處其際追書申進候設計書及図面可成速ニ御差出相成度

第十運河工事設計予算書

一金貳拾七万八千五百円也

総工費

内

金四万六千七百円

浚渫費

但浚渫土砂六万六千五百立坪

金六万壹千八百円

築堤費

金八百円

築立土砂貳万六千参百四拾立坪

内訳

金参千円

芝付 壹万九千六百拾面坪

金五万八千円

護岸九千六百面坪

金拾七万円

樋門費

金四千参百円

土工四千参百立坪

金六万四千円

基礎混凝土千貳百立坪

金四万九千五百円

本体其他混凝土千百立坪

内訳

金貳万貳千円

切石土貳万切

金五千円

水替費

金参千円

支保, 遣方, 足場等

金壹万五千円

門扉及開閉機

金七千貳百円

雑費

右之通り

四乙第三五〇号ノ内

大正五年八月十二日

小橋内務省土木局長

青木大阪土木主張所長殿

吉野川運河開削工事施行ニ関スル件照会

客月廿六日発第二四二号送付ニ係ル吉野川運河開削設計工費予算ハ從來ノ計画ニ於ケル第十堰上方の洗堰石堤築造費ニ相当スル趣曩ニ御提出ノ計画変更説明書ニ記載有之候處右石堤築造費既定予算承知致度

洗堰石堤 工費金拾六万五千円也

			厘	厘	
洗 堰	間	115	1 061 700	122 095 000	単価表ニヨル
護岸石張	面坪	720	8 000	5 760 000	〃
根 固 枠	坪	144	15 000	2 160 000	〃
床固沈床	面坪	1 440	4 000	5 760 000	〃
堀 上	坪	14 000	1 500	21 600 000	
雑 費	—	—	—	7 624 500	

上之通り候也

単 価 表

洗 堰 間口当				厘	厘	
					1 061 700	
	枠		56 坪	15 000	840 000	下記単価表ニヨル
	間知石		620 個	180	111 600	
	大割石		14 坪	6 000	84 000	
	人夫		31 人	300	9 300	張石 20 ケニ付 1 人
	人夫		56 人	300	16 800	場所運搬並積込トモ坪 4 人掛リ
護 岸 張 石					8 000	
面 坪 当	間知石	面 1 尺 扣 1 尺五寸	36 個	125	4 500	
	礫		0.4 坪	5 000	2 000	
	粘土		0.2 坪	2 000	400	
	石工		1 人	500	500	
	人夫		2 人	300	600	
					15 000	手伝
枠 立坪当	枠柱松丸太	長 6 尺 末口 6 寸	2.2 本	700	1 540	
	横木 "	長 14 尺 末口 4 寸	2.1 本	900	1 890	
	敷木 "	長 7 尺 末口 3 寸	8 本	200	1 600	
	立成 "	長 6 尺 末口 2 寸	22 本	100	2 200	
	大割石		0.8 坪	6 000	4 800	
	小割石		0.2 坪	5 000	1 000	
	ボールト		6 本	70	420	
	大工		2 人	400	800	
	人夫		2.5 人	300	750	
					4 000	
沈 床 面坪当	粗朶		20 束	75	1 500	
	柵		0.8 束	150	120	
	杭木		10 束	70	70	
	二子縄		4 房	20	80	
	三子縄		3 筋	10	30	
	電線	10 番	100 刃	1×刃 600	60	
	"	14 番	150 "	"	90	
	大割石		0.1 坪	6 000	600	
	小割石		0.05 坪	5 000	250	
	砂		0.8 坪	0	0	
	人夫		4 人	300	1 200	

上之通り

発二四二号

大正五年八月十七日

吉野川改修工事費問合ニ対シ回答ノ件

案

吉野川洗堰石堤予算金本月十二日付四乙第三五〇号ノ内ヲ以テ御問合の趣了承該工事既定予算金ハ別紙ノ通りニ有之候而シテ客年七月十六日発第二〇八号ヲ以テ稟請ノ際添付セシ設計変更説明書中運河開削費ハ洗堰石堤費ニ相当スト説明シタルハ客月二十六日発第二四二号ヲ以テ提出セシ第十運河設計予算書中樋門費拾七万円（石堤費拾六万五千元）ニ相当スルモノニシテ該書中ニアル浚渫費築堤費ハ兩工事トモ必要ノモノニ有之候間御了知相成度此段及回答候也

月 日

所 長

土木局長殿

四乙第三五〇号ノ内

大正五年八月廿八日

小橋内務省土木局長

青木大阪土木出張所長殿

吉野川運河開削費ニ関スル件照会

標記ノ件照会ニ対シ本月十八日発二四二号御回答ノ次第モ有之候處運河開削費ハ洗堰石堤費ニ相当スト説明セルハ運河設計中ノ樋門費ト石堤費ト相当スルモノノ趣ニ候へ共右兩費用ハ五千元ノ差額有之候ノミナラス樋門費以外ノ運河設計ニ属スル浚渫費及築堤費拾万八千五百円有之而カモ右等ノ費額ハ曩ニ御提出ノ設計変更説明書末尾ノ工費対照表中ニ包含セサル様ニモ被存其辺判明不致候ニ付此際既定総工費ト変更計画ニ依ル総工費トノ対照内訳表調製御提出相成度

発二四二号

大正五年九月十八日

吉野川改修費ニ関スル件

本件ニ付別紙ノ通り土木局長ヨリ照会ニヨリ田中技師へ問合セ候處別紙送付シ来リ候間左案ヲ以テ回答可然ヤ相伺候

案

吉野川改修工事当初総予算金ト変更計画ニ係ル総工費トノ対照内訳表提出方客月二十八日付四乙発三五〇号ノ内ヲ以テ御照会ノ趣了承右ハ別表ノ通りニ有之候而シテ予算不足金拾参万八千元ハ工事全体ニ於テ最終年度迄ニ成ルベク節約補充ノ見込ニ有之候此段及回答候也

年 月 日

所 長

土木局長 宛

吉野川改修予算対比表（大正5年9月調）

費 目	当初予算金	変更予算金	比較増減
浚 渫 費	1 021 600 円	1 240 000 円	218 000 円
堤 防 費	1 408 300	1 358 500	49 800
護 岸 費	228 800	100 000	128 800
制 水 費	165 000	0	165 000
沖 洲 川 樋 門 費	0	50 000	50 000
新 町 川 樋 門 費	27 000	78 000	51 000
榎 瀬 江 古 川 樋 門 費	27 000	50 000	23 000
飯 尾 川 樋 門 費	0	60 000	60 000
宮 島 川 樋 門 費	0	50 000	50 000
第 十 運 河 費	0	108 500	108 500
第十運河費樋門費	0	170 000	170 000
土 地 買 上 料	2 559 400	2 432 000	127 400
家 屋 其 他 移 転 費	278 500	723 000	444 500
補 償 金	0	100 000	100 000
付 帯 工 事 補 助	100 000	100 000	0
船 舶 及 機 械 費	1 903 710	1 118 000	785 710
其 他 諸 費	280 690	400 000	119 310
合 計	8 000 000	8 138 000	138 000

四乙第三五〇号ノ内

大正五年九月廿六日

小橋内務省土木局長

青木大阪土木出張所長殿

吉野川改修費当初予算及変更計画予算対照表ノ件照会

標記ノ件本月十八日發第二四二号御回答之次第モ有之候処既定予算総額ハ金八百万円ナルニ不
拘変更計画予算ヲ其以上ト為スコトハ予算追加ノ要求ヲ為サザル限り不面白義ト存候ニ付テハ不
足金拾参万八千円ハ最終年度迄ニ節約補充ノ御見込モ有之候次第故右節約見込ノ下ニ変更計画予
算ノ総額ヲ既定予算ト同額ナラシメ其内訳取調ヘ更ニ御提出相成度

發二四二号

大正五年九月二十八日

吉野川改修費予算対照表ノ件

案

吉野川改修費当初予算及変更計画予算対照表ノ件ニ付キ本月二十六日付四乙第三五〇号ノ内ヲ
以テ御照会ノ趣了承御来意ニ基キ内訳訂正ノ上更ニ別表及提出候間可照御取計相成度候也

月 日

所 長

土 木 局 長 宛

吉野川改修予算対比表（大正 5 年 9 月調）

費 目	当初予算金	変更予算金	比較増減
浚 渫 費	1 021 600 円	1 240 000 円	218 400 円
堤 防 費	1 408 300	1 220 500	187 800
護 岸 費	228 800	100 000	128 800
制 水 費	165 000	0	165 000
沖 洲 川 樋 門 費	0	50 000	50 000
新 町 川 樋 門 費	27 000	78 000	51 000
榎 瀬 江 古 川 樋 門 費	27 000	50 000	23 000
飯 尾 川 樋 門 費	0	60 000	60 000
宮 島 川 樋 門 費	0	50 000	50 000
第 十 運 河 費	0	108 500	108 500
第 十 運 河 樋 門 費	0	170 000	170 000
土 地 買 上 料	2 559 400	2 432 000	127 400
家 屋 其 他 移 転 費	278 500	723 000	444 500
補 償 金	0	100 000	100 000
付 帯 工 事 補 助	100 000	100 000	0
船 舶 及 機 械 費	1 903 710	1 118 000	785 710
其 他 諸 費	280 690	400 000	119 310
合 計	8 000 000	8 000 000	0

発第二一五号

大正七年五月三十一日

吉野外三川改修費増額予算書提出ノ件

案

先般御申越相成候河川改修費増額取調候處吉野外三川ニ於テ不足ノ生スヘキ見込ニ付キ別冊御詮議相成候様致シ度此段申進候也

所 長

沖野技監宛

各川改修費予算増額要求ニ関スル説明書

欧州大戦ノ我カ事業界ニ及ボシタル影響ハ極メテ大ナルモノニシテ各種ノ製造工業ハ致ル処ニ勃興シ随テ建築工事モ亦タ頗ル盛況トナリ其他各種事業隆盛ノ為物価ノ騰貴、労働賃ノ引上ゲ労働者ノ欠乏トナリ直轄河川工事ニ於テモ忽チ其影響ヲ受タルニ至リ今其変動ノ起リテ調査スルニ各河川ニ依リ多少ノ遅速アリト雖トモ概シテ大正五年九月頃ヨリ物価労賃共ニ漸次騰貴ノ傾向ヲ顯ハシ来リシガ如ク翌六年秋期ニ至リテハ愈々其著シキ影響ヲ受クルニ至レリ此変動ハ今尚ホ依然トシテ持続セリ。目下施行中ノ各川改修工事ハ前陳ノ如ク時局ノ影響ヲ受ケ材料労力費著シク騰貴セシ結果既定ノ予算金ニテハ到底之レヲ完成セシムルコト能ハザルヲ以テ其増額金ヲ調査シタルニ各川増額調査ノ如シ。又各川ニ於ケル既定計画工事ノ外尚ホ追加施工ノ必要アリト認メタル工事ヲ調査シタルニ別紙各川予算調査ノ如キ該工事ハ此際併セテ施行セラレンコトヲ希望ス

吉野川改修費増額説明書

本川改修工事ハ予定ノ如ク進捗シ今ヤ第十堰堤以下ニ属スル区域ハ築堤殆ント完成シ其上流部ニ属スル区域ノ築堤モ亦前年来其一部ノ着手ヲ見ルニ至レリ然ルニ第十堰堤以上西林ニ至ル区間ハ当初ノ計画ニ依レバ在来ノ本堤（左岸柿島村以下右岸川島町以下等）ニ対シテハ嵩置ヲ為ス事トナリ居リシモ其他ノ無堤防地域ニ対シテハ何等計画ナキヲ以テ洪水ニ際シテハ氾濫ニ委スルノ外ナカリシガ下流部ニ於ケル既成築堤ノ好成績ニ徴スレバ此際別紙平面図ニ記載スルカ如ク追加工事ヲ施行スルニ於テハ将来本川改修工事ノ効果ヲシテ一層大ナラシムルヲ得ベキヲ以テ之レニ要スル工費ト時局ノ影響ニヨリ不足ヲ生スヘキ金額トシ調査スルニ左記ノ如シ

- 一、大正六年度迄ニ要シタル金額五百参拾五万九千参百余円（清算中ニ付キ多少ノ異動ハ免カレス）ニシテ大正七年度以降ノ工事費ニ充当スヘキ金額約貳百六拾四万七百元（大正六年度末現在物品価格ヲ合併ス）ナリ
- 二、川島町以下海ニ至ル確定区域内ニ属スル大正七年度以降工費総額貳百参拾壹万九千参百元ニシテ其内金八拾貳万四千貳百七拾六円八拾銭ハ時局ノ影響ニ依リ増額ヲ要スルモノニ属セリ（別紙甲号表ノ通り）
- 三、川島町ヨリ西林ニ至ル区域内ニ属スル追加工事ニ要スル金額八百参拾参万円ニシテ別紙乙号表ノ如シ
- 四、川島町、西林間ニ於ケル工事ニ川田川改修工事ヲ追加施工スルニハ更ニ金九万五千五百六拾円ヲ要ス別紙丙号表ノ如シ
- 五、丙号川田川改修工事ハ川田、山瀬両村ノ広大ナル耕宅地ヲ洪水ヨリ救済スル計画ニシテ最モ又必要ナル工事ト認ムルガ故ニ是非採用セラレンコトヲ希望ス
- 六、前陳甲乙丙三種工事ヲ完成セントセバ既定工事八百万円ニ対シ金百拾万四千百六拾円ノ予算不足ヲ生シ又甲乙二種工事ヲ施工セントセハ金百万八千六百元ノ予算不足ヲ生ス
- 七、川島町ヨリ上流ニ属スル工事ヲ施行スルニハ堤外地ニ存在スル民有地ノ買収ト地上物件ノ移転ノ必要アルベシ之ニ要スル金額拾四万五千元ナリ（別紙丁号調ノ通り）
- 八、前項堤外地ノ買収並ニ地上物件移転ヲ採用セラルニ於テハ尚ホ川島町ヨリ第十堰堤ニ至ル区間ニ存在スル民有地ノ買収ト地上物件ノ移転ヲモ採用セラレン事ヲ希望ス此ノ如クセバ吉野川改修工事施工区域内ニハ総テ民有地ノ存在ヲ認メサルニ至ルベシ（別紙戊号調ノ通り）

吉野川改修費増額予算書

内務省大阪土木出張所

吉野川改修費増額説明書

本川改修工事ハ着々進捗シ今ヤ第十堰堤以下ニ属スル区域ハ築堤殆ント完成シ其上流部ニ属スル区域ノ築堤モ亦前年来其一部ノ着手ヲ見ルニ至レリ然ルニ第十堰堤以上西林ニ至ル区間ハ当初ノ計画ニ依レハ在来ノ本堤（左岸柿島村以下右岸川島町以下等）ニ対シテハ嵩置ヲ為ス事トナリ居リシモ其他ノ無堤防地域ニ対シテハ何等計画ナキヲ以テ洪水ニ際シテハ氾濫ニ委スルノ外ナカリシガ下流部ニ於ケル既成築堤ノ好成績ニ徴スレバ此際別紙平面図ニ記載スルガ如ク追加工事ト

シテ施行スルニ於テハ将来本川改修工事ノ効果ヲシテ一層大ナラシムルヲ得ヘシ又川田、山瀬兩村ニ属スル広大ナル耕宅地ヲ洪水ヨリ救済スルニハ川田川ノ改修ヲ為スノ必要アルヲ以テ是亦併セテ追加工事トシテ施行セントス。目下施行中ニ属スル飯尾川、宮島川、沖洲川ノ三樋門ハ当初計画ニナカリシモ改修工事ノ進捗ニ伴ヒ其必要ヲ認メタルモノニシテ当初予算ニ対シ約拾七万円ヲ増加スル事トナレリ。大正七年度以降施行ヲ要スベキ残工事ニ対スル時局ノ影響ニ依ル不足金額ト新タニ追加施行セントスル工事費トヲ調査シタルニ左記説明ノ如シ

- 一、川島町以下海ニ至ル確定区域内ニ属スル大正七年度以降残工事ニ対スル金額ハ別紙甲号表ノ如ク金貳百參拾壹万九千參百円ニシテ其内金八拾貳万四千貳百七拾六円八拾錢ハ時局ノ影響ニ依ル増額金ナリ
- 二、川島町ヨリ西林ニ至ル区域ニ属スル追加工事ニハ別紙乙号表ノ如ク金百參拾參万円ヲ要シ又川田川改修工事ヲ施行スルニハ別紙丙号表ノ如ク金九万五千五百六拾円ヲ要ス
- 三、第二項ノ工事ヲ施行スルト同時ニ堤外民有地ノ全部買収ト地上物件ノ移転ヲナシ河川、整理ヲ為サントス之レニ要スル金額ハ別紙丁号ノ如ク金拾四万五千円ヲ要シ又川島町ヨリ第十堰堤ニ至ル区間ニ於テ築堤用土ノ為メ堤外民有地ヲ買収シタルモ尚民有地ニ属スルモノ不少是等モ其上流部ト同様ノ理由ニテ買収並ニ移転ヲ為サントス之ニ要スル金額ハ別紙戊号ノ如ク金七万円ヲ要ス

以上列記スルカ如ク大正七年度以降施行ヲ要スベキ残工事ト新タニ追加施行セントスル工事ニ要スル總金額ハ參百九拾五万九千八百六拾円ナルガ其内大正七年度以降ニ使用シ得ヘキ既定予算金ノ残額貳百六拾四万壹千貳百四拾四円（残材料価格トモ）アルヲ以テ之レヲ控除シ今回増額ヲ求メントスル金額壹百參拾壹万八千六百拾六円ナリ

前記増額金ヲ既定年度ニ割当ツルトニハ左記ノ如シ

金四拾四万円	大正八年度
金四拾四万円	大正九年度
金四拾參万八千六百拾六円	大正十年度

甲号

吉野川改修費増額調書

(施工区域川島町以下右岸9里24丁半ヨリ河口ニ至ル)左岸8里8丁ヨリ

当初予算金	費用	大正6年度 マデ竣工金	大正6年度末 残工事予算高	同左時局ノ影響 ニヨル更正予算高	差引増加額	摘要
		円	円	円	円	
1 021 600.000	浚 渌 費	858 145.781	246 187.200	495 104.000	248 916.800	
1 408 300.000	築 堤 費	278 481.236	324 225.000	577 710.000	253 485.000	
228 800.000	護 岸 費	2 502.494	218 800.000	273 500.000	54 700.000	
165 000.000	制 水 費	0	0	0	0	
54 000.000	特 種 工 事 費	143 896.954	328 600.000	453 600.000	125 000.000	
0	旧 堤 取 払 費	6 293.570	0	0	0	
2 559 400.000	地 所 買 上 料	2 196 955.470	9 000.000	9 000.000	0	
278 500.000	家屋其他移転料	641 418.160	0	0	0	

当初予算金	費 用	大 正 6 年 度 マデ竣工金	大 正 6 年 度 末 残工事予算高	同左時局ノ影響 ニヨル更正予算高	差引増加額	摘要
0	補 償 金	円 89 520.470	円 0	円 0	円 0	
100 000.000	付帯工事費補助	32 444.000	18 000.000	18 000.000	0	
1 903 710.000	船 舶 及 機 械 費	821 644.114	215 211.000	357 386.000	142 175.000	
280 690.000	其 他 諸 費	287 453.585	135 000.000	135 000.000	0	
8 000 000.000	合 計	5 358 755.834	1 495 023.200	2 319 300.000	824 276.800	
	大 正 6 年 度 末 現在物品価格 改 メ 合 計	111 098.551 5 469 854.385				

吉野川改修費時局の影響に因る予算増額内訳書

費 目	項 目	単位	大正6年度末現在実施残			同左ニ対スル更正予算			摘 要
			数量	単価	金額	単価	金額	差引増額金	
浚渫費	陸上浚渫	立坪	147 700	0.450	66 465.000	0.880	129 976.000	63 511.000	施工中
	"	"	131 500	0.450	59 175.000	0.880	115 720.000	56 545.000	未設計
	"	"	46 400	0	0	0	0	0	未設計
	川中浚渫	"	259 800	0.464	120 547.200	0.960	249,408.000	128 860.800	築堤ノ中ニ計上 ノタメ無シ
	小 計		585 400		246 187.200		495,104.000	248 916.800	未設計
築堤費	築 堤	立坪	266 400	0.550	146 520.000	0.980	261 072.000	114 552.000	施工中
	"	"	323 100	0.550	177 705.000	0.980	316 638.000	138 933.000	未設計
	小 計		589 500		324 225.000		577 710.000	253 485.000	
護岸費	護 岸	面坪	22 150	8.000	177 200.000	10.000	221 500.000	44 500.000	施工中, 沈床ヲ 含ム
	"	"	5 200	8.000	41 600.000	10.000	52 000.000	10 400.000	未設計
	小 計		27 350		218 800.000		273 500.000	54 700.000	
特種工事費	宮島川樋門	個所	1		44 500.000		44 500.000	0	材料購入済ニツ キ増額ヲ要セ ズ, 施工中
	沖洲川樋門	"	1		40 100.000		40 100.000	0	"
	飯尾川樋門	"	1		9 000.000		9 000.000	0	"
	第十樋門	"	1		170 000.000		260 000.000	90 000.000	未設計
	榎瀬江古川樋門	"	1		65 000.000		100 000.000	35 000.000	"
	小 計				328 600.000		453 600.000	125 000.000	
地所買上料	土 地	反	60	150.000	9 000.000	150.000	9 000.000	0	
	小 計				9 000.000		9 000.000	0	
船舶及機械費	修 理	坪	868 700	0.132	114 668.400	0.220	191 114.000	76 445.600	掘削機使用
	"	"	259 800	0.387	100 542.600	0.640	166 272.000	65 729.400	浚渫船使用
	小 計				215 211.000		357 386.000	142 175.000	
付帯工事費補助	樋門及橋梁	個所	3		18 000.000		18 000.000	0	江川, 一条樋門 及ビ橋梁
	小 計				18 000.000		18 000.000	0	
其他諸費					135 000.000		135 000.000	0	
	小 計				135 000.000		135 000.000	0	
合計					1 495 023.200		2 319 300.000	824 276.800	

乙号

吉野川改修追加工事予算書

一金1 330 000円也

(施工区域川島町以上 右岸9里24丁半ヨリ 西林ニ至ル)
左岸8里18丁ヨリ

費 目	項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
築 堤 費	左岸西林堤	立坪	26 900	0.980	26 362.000	
	同善入寺堤	〃	130 000	0.980	127 400.000	
	右岸川田山崎間堤	〃	100 200	0.980	98 196.000	
	同山崎川島間堤	〃	155 400	0.980	152 292.000	
小 計					404 250.000	
掘 鑿 費	左岸岩津岩切	立坪	11 000	7.000	77 000.000	
小 計					77 000.000	
護 岸 費	左岸西林護岸	面坪	750	10.000	7 500.000	
	同善入寺護岸	〃	15 000	10.000	150 000.000	
	右岸川田川島間同	〃	17 750	10.000	177 500.000	
小 計					335 000.000	
特 種 工 事 費	樋 門	個所	6	13000.000	78 000.000	岩津, 川島, 桑, 八幡, 秋月, 柿原, 各径間9尺以内
小 計					78 000.000	
地 所 買 上 料		反	500	300.000	150 000.000	
小 計					150 000.000	
家屋其他移転料		棟	400	100.000	40 000.000	
小 計					40 000.000	
補 償 金	地上物件移転補償				15 000.000	
小 計					15 000.000	
船 舶 及 機 械 費	機 械 修 理	坪	412 500	0.220	90 750.000	
小 計					90 750.000	
其 他 諸 費					140 000.000	
小 計					140 000.000	
合 計					1 330 000.000	

丙号

吉野川改修追加工事予算書

一金95 560円也

(施工区域川島町ヨリ上流西林間ニ於テ川田川ノ改修スル計画ニ変更スルモノ)

費 目	項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
浚 渫 費	川 田 川 浚 渫	立坪	34 000	0	0	築堤ニ計上セルガ故ニ無代
小 計					0	
築 堤 費	築 堤	立坪	11 300	0.980	11 074.000	
小 計					11 074.000	
特 種 工 事 費	樋 門	個所	2	13 000.000	26 000.000	
	橋 梁	〃	1		18 000.000	
小 計					44 000.000	
地 所 買 上 料		反	110	300.000	33 000.000	
小 計					33 000.000	
船 舶 及 機 械 費	機 械 修 理	坪	11 300	0.220	2 486.000	
小 計					2 486.000	
其 他 諸 費					5 000.000	
小 計					5 000.000	
合 計					95 560.000	

単価調

工費ト修繕費トノ割合ヲ対照スレバ左ノ如シ

	掘 鑿 機				浚 渫 船			
	大正5年度平均		想定単価		大正5年度平均		想定単価	
	坪当	百分率	坪当	百分率	坪当	百分率	坪当	百分率
賃 金	厘		厘		厘		厘	
	326	56	37	34	286	34	365	23
消 耗 品	124	21	510	46	178	27	595	37
修繕及手入	132	23	220	20	387	45	640	40
計	582	100	1 100	100	851	100	1 600	100

物価調

當川ニテ使用スル重ナル材料ノ價格ヲ封照スレバ左ノ如シ

1. 消耗品

品目	単位	大正5年度買入品		最近買入品		増加割合	摘 要
		年 月	価 格	年 月	価 格		
			円		円		
石炭	万斤	大正5年6月	40.500	大正7年4月	129.900	3.21	大正7年3月ニ買入レタル分ハ罐代ヲ除ク
車軸油	舛	〃	0.155	大正6年12月	0.322	2.08	
シリンダー油	〃	大正5年5月	0.275	〃	0.420	1.53	
エンジン油	〃	〃	0.210	大正6年10月	0.414	1.97	
ボロ貫		大正5年4月	0.350	大正7年4月	0.650	1.86	
白絞油	舛	大正5年5月	0.490	大正7年3月	0.860	1.76	

2. 材料

品 目	単位	大正5年度買入品		最近買入品		増加割合	摘 要
		年 月	価 格	年 月	価 格		
セ メ ン ト	樽	大正5年11月	円 4.500	大正6年12月	円 7.200	1.56	
松丸太 長9尺 末4寸	本	大正5年度	0.280	大正7年2月	0.470	1.68	

3. 労力費

職名	単位	大正5年度平均	大正7年4月相場	増加割合	摘 要
		円	円	割	
石 工	人	1.010	1.300	2.87	
大 工	〃	1.169	1.200	0.27	
男人夫	〃	0.532	0.720	3.53	
女人夫	〃	0.313	0.450	4.38	

物価騰貴ノ割合

今後ノ工事区域ハ重ニ土砂ヲ遠距離ニ運搬スル必要アルヲ以テ主トシテ機関車ヲ用ヒ輕便軌條ヲ使用スル箇所少キ見込ナリ

一. 消耗品費

土工ニ要スル重ナル消耗品ハ別表記載ノ石炭及油類ナリト雖モ就中其大部分ヲ占ムル重要品ハ石炭ナリ而シテ石炭ハ別表ニアルガ如ク大正五年六月ニ比シ三倍二分強ニ騰貴シタリ而シテ今後ノ施行区域ハ三千間内外ノ遠距離ニ運搬スル箇所多キヲ以テ今後ハ益々消耗品費ヲ増加スル見込ナリ

二. 労力費

土工ニ要スル労力費ハ工夫、定夫、男人夫、女人夫、運転手、火夫、高給船員、下給船員、石工、大工、牛馬付人夫、船付人夫等ニ区セラルルト雖トモ其大部分ヲ占ムルモノハ男人夫ニシテ前記総人員ノ約八割ニ当ル而シテ男人夫賃金ハ別表ニアルガ如ク大正五年度ニ比シ三割五分強ニ騰貴シタリ而シテ工夫、定夫、運転手、火夫、船員等モ漸次増給スルノ必要アルヲ以テ労力費ノ騰貴率ハ三割五分強ナリト認ム。

丁号

吉野川改修追加工費予算書

一金拾四万五千円也

但川島町ヨリ上流部ニ属スル堤外地買収並ニ物件移転ニ要スル費用

内

金拾万五千円

土地反別參拾五歩 但1町歩金參千円

金壹万円

家屋移転料壹百棟 但壹棟金百円

金參万円

地上物件移転料

戊号

吉野川改修追加工費予算書

一金七万円也

但川島町以下第十堰堤マテニ属スル堤外地買収並ニ物件移転ニ要スル費用

内

金六万円

土地反別貳拾町歩 但壹町歩金參千円

金壹万円

家屋移転料壹百棟 但壹棟金百円

発第二七九号

大正七年七月四日

淀川外三川改修費増額予算書提出ノ件

案

淀川外三川改修費増額予算書並ニ図面式葉提出候間御詮議相成候様致シ度此段申進候也

月 日

所 長

土木局長宛

追テ過日上京ノ際沖野技監ヘ申述置キ候予算金ニ対シテ少シク変更ヲ来タシタルモ有之候間以下其概要ヲ申加候

- 一、高梁川付帯工事其他ハ時局ノ影響ニ依ル増額金ヲ再調ノ結果増加セリ
- 二、九頭竜川ハ付帯工事其他ハ時局ノ影響ニ依リ増額金ヲ再調ノ結果追加セリ
- 三、淀川下流ハ付帯工事其他ハ時局ノ影響ニ依リ増額金ヲ再調ノ結果増加ナセリ（別紙平面図式葉添付ス）
- 四、吉野川ハ前回ト同様ナリ但シ曩ニ添付セシ平面図式葉ノ内川田川改修計画線記入ノモノ添付セラレタシ

発第二七九号

大正七年七月五日

淀川外三河川改修費予算不足額表提出ノ件

案

当所所管淀川外三河川改修費増額予算書昨日提出候処右ニ附属スヘキ不足額調表別紙壹通及送付候也

月 日

所 長

土木局長宛

発第二七九号

大正七年七月二十四日

追加工事費増額ノ件

案

本月四日付発二七九号ヲ以テ淀川外三川改修費増額予算書提出候処吉野川ハ今回ノ洪水ニ鑑ミ別紙追加工事施行ノ必要ヲ認メ候間曩キニ提出セシ工費増額金ノ外ニ本件金額増額相成候様致シ度此段申進候也

月 日

所 長

土木局長宛

電報

七年七月六日

土木局長

所長宛

治水費不足額十五日迄ニ要求ヲ要ス取纏メノ都合アリ概算直ク送クレ

不足額要求書今日出ス

所 長

局長宛

吉野川改修追加工事予算書

今回追加工事トシテ施設セントスルハ本年七月十二日吉野川ノ出水ニ鑑ミ既定工事以外ニ新タニ増設ノ必要ヲ認メタルモノニシテ其工種金額並ニ施行理由ハ左ノ如シ

一. 第十堰堤以下海ニ至ル護岸石張及沈床工

本工事ハ兩岸ニ属スルモ其大部分ハ左岸ニシテ今回ノ出水ニテ流心著シク變動ヲ来シ其結果堤腹又ハ小段毀損崩落セシヲ以テ該個所ニ施設セントス

二. 第十堰ヨリ上流川島町ニ至ル石張工

本工事ハ目下着手中ノ兩岸拵築堤ヲ主トス此地方ハ一般ニ土質不良ニシテ滲透水アルヲ以テ在来堤ハ堤内法先ニ総テ石張ヲ施シアルモ改修堤ハ其堤敷大ヒニ拡張セシヲ以テ張石ヲ省畧スル事トセリ然ルニ今回ノ出水ニ際シ実見スルニ滲透水尚ホ止ズシテ法先崩落シ民地ニ流入セシ個所アルヲ以テ此等堤脚ニ石張工ヲ施設セントス

三. 第十堰堤ヨリ川島町ニ至ル護岸沈床

本工事ハ今回ノ出水ニテ流心變動ノ結果堤脚ニ危害ヲ及ボスノ慮アル個所ニ対シ兩岸拵築堤ノ堤脚ニ施設セントス

以上各工事ニ要スル金額貳拾参万七千貳百円ニシテ其内訳左表ノ如シ

工 程	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
			円	円	
護岩石張	面坪	5 360	10	53 600	第十堰ヨリ海ニ至ル
石 張	面坪	12 900	10	129 000	〃 川島町ニ至ル
護岸沈床	面坪	4 200	7	29 400	〃 海ニ至ル
護岸沈床	面坪	3 600	7	25 200	〃 川島町ニ至ル
計				237 200	

収第五九八号

大正七年七月二十五日

河川改修工事追加設計ニ関スル回答案伺

淀川外三川改修設計追加施行ノ件ニ関シ本月十七日付発第二二四号ヲ以テ御照会の趣了承本件ノ内淀川外二川ニ関シテハ別紙説明書提出致シ候然ルニ吉野川ニ関シテハ川島町ヨリ上流部追加工事調査方法稍穩当ナラサル様認メ候間訂正増額予算書ト共ニ不日提出可致候最モ総工事費ニ対シテハ前回提出ノ分ト増減無之単ニ從來残工事ニ要スル金額ト追加工事ニ要スル金額トニ於テ彼是異動ヲ来ス迄ニ有之候間御承知相成回答旁申進候也

月 日

所 長

土木局長宛

発第二二四号

大正七年七月十七日

堀田内務省土木局長

岡崎大阪土木出張所長殿

河川改修工事追加設計ニ関スル照会

淀川下流高梁川及吉野川改修設計追加施行ヲ要スル詳細ノ理由説明書至急御差出相成度尚吉野川上流部ノ工事及支川付替工事施行ニ依リテ水害ヲ救済シ得ル利益調（及別価格等）詳細御申越相成度

追テ吉野川改修費ニ於テ六年度末迄二百十四万余円ノ剰余金ヲ生シタル大体ノ説明書差出相成度

収第五九八号

大正七年八月二日

吉野川改修費増額ノ件ニ付土木局長へ照会案伺

案

吉野川改修費増額予算書先般提出候処其際川島町ヨリ上流西林間（左岸八里拾八町右岸九里二十四町半ヨリ上流）ニ対スル当初計画ノ内訳書類不明ノ為其内容判明セサルヲ以テ川島西林間ハ当初計画ニナキモノトシ追加工事中ニ編入取敢ヘス差出候ヘトモ其調査方法穩当ナラサルヲ以テ其後稍々搜索ノ結果種々據ルヘキ書類発見セリ該書類ニヨレハ前記区域内ニ於ケル当初計画ハ在来堤ニ対シ腹付高置ヲナス迄ニシテ切断セル上下堤防間ノ築堤ハ計画意見書中（第十以上西林ニ至ル工事ノ項参照）ニ記載シアルガ如クニ地方ノ施設ニ委シタルガ如シ然レドモ今ヤ本川改修工事モ大ヒニ進捗シタルノ今日ニ於テ該区域ノミヲ単ニ在来堤ノ拡張ニ止メ依然洪水ノ氾濫ニ委スルハ誠ニ遺憾ニシテ近キ将来地方ニ於テ予期ノ如ク築堤ヲ施設スル事ハ致底至難ト存シ候間此際追加工事トシテノ施行致シ度尚ホ其他必要ト認メタル工事モ併セテ調査候処別紙予算書ノ通りニ有之候最モ今回増額ヲ要スベキ総金額ハ囊ニ提出セシモノト増減コレナク単ニ残工事ト追加工

事ノ編成ヲ變更セシ迄ニ有之候間其辺御承知相成度回答旁申進候也

追而前陳ノ次第ニツキ過日提出セシ増額予算書ハ棄却相成度候

月 日

所 長

土木局長宛

吉野川改修費増額説明書

本川改修工事ハ着々進捗シ今ヤ第十堰以下ニ属スル区域ハ築堤殆ンド完成シ其上流部ニ属スル区域ノ築堤工事モ亦タ前年末其一部ノ着手ヲ見ルニ至レリ而テ左岸柿島村（八里十八町）右岸川島町（九里二十四町半）ヨリ上流西林間ハ当初ノ計画ニヨレバ在来堤ヲ増嵩拡築スルニ止リ無堤地ハ地方ノ施設ニ委スルコトトナリ居レリ。抑モ此無堤地タルヤ平坦ニシテ付近沿岸唯一ノ耕宅地ナリ故ニ近時社会ノ進運ニ伴テ住民年ト共ニ加里産業亦タ時勢ノ要求ニ促サレテ日ニ發達シ殖産興業上枢要ノ地トナレリト雖ドモ年々数次ノ出水ニヨリテ沿岸崩壊ヲ来シ加フルニ浸水ノ害ヲ蒙ルノ現状ニアリ故ニ之ヲ救済保護スルハ改修本来ノ目的タルノミナラズ之ヲ地方ノ施設ニ委センカ多大ノ経費ヲ要スルヲ以テ近キ将来ニ完成ヲ期シ難カルベシ是ヲ以テ此際追加工事トシテ施設シ如上ノ被害ヲ除却セント欲ス而シテ追加工事ノ為メ浸水ヲ免ルル地域ハ約式千町歩ナリ

- 一、吉野川ハ激流ナルノミナラズ出水ニ際会セバ流材多ク堤腹ヲ破壊セシムル故ニ護岸工ヲ施シテ堤腹ヲ保護セント欲ス
- 二、堤防ヲ接続セシム結果必要ノ地点ニ樋門ヲ設置シテ高水ヲ防止セントス
- 三、第十堰堤ヨリ上流西林間ノ堤外地ニ官民有地錯雜セルヲ以テ此等民有地ヲ買収シテ川敷ヲ整理シ以テ流水ノ疎通ヲ計ラントス
- 四、川田川ハ急流河川ニシテ一朝出水スルヤ下流沿岸ノ崩壊シ耕宅地ニ惨害ヲ興フルコト少カラザルヲ以テ今回第十堰上流ノ無堤地ニ築堤スルト共ニ当然流末ノ改修ヲ要スル次第ナリ

西林以下海ニ至ル確定区域内ニ於ケル大正七年度以降残工事ニ要スル金額ハ別紙甲号表ノ如ク金貳百六拾四万貳千七百四拾円ニシテ其内金九拾四万貳千貳百拾壹円四拾錢ハ時局ノ影響ニ因ル増金ナリ

今回追加工事トシテ施工セントスル工事費ハ別紙乙号表ノ如ク金壹百參拾壹万七千百貳拾円ナリ

以上列記スルガ如ク大正七年度以降施行ヲ要スベキ残工事ト新タニ追加施行セントスル工事ニ要スル總金額參百九拾五万九千八百六拾円ナルガ其内大正六年度末支出殘金參万參千貳百九拾貳円九拾五錢五厘ト同年度末現在物品価格金九万八千貳百貳拾七円アルヲ以テ之ヲ控除スレバ大正七年度以降ニ要スベキ金額參百八拾貳万八千參百四拾円（円止）ナリ此金額ニ対スル年割額ヲ定ムル左記ノ如シ

金七拾万円	大正七年度
金壹百六万六千円	大正八年度
金壹百拾壹万六千円	大正九年度
金九拾四万六千參百四拾円	大正十年度

甲号

吉野川改修費増額調書

(施工区域西林ヨリ海ニ至ル)

当初予算	費 目	大正6年度迄 支 出 高	大正6年度末 残工事予算高	同上情勢の影響 ニ因ル更正予算高	差引増加額	摘 要
円		円	円	円	円	
1 021 600.000	浚 渫 費	672 669.833	246 187.200	495 104.000	248 916.800	
1 408 300.000	築 堤 費	280 330.200	425 810.000	758 716.000	332 906.000	
228 800.000	護 岸 費	6 144.430	241 840.000	302 300.000	60 460.000	
165 000.000	制 水 費	0	0	0	0	
54 000.000	特 種 工 事 費	147 752.320	328 600.000	453 600.000	125 000.000	
0	旧 堤 取 払 費	6 271.210	0	0	0	
0	船舶機械用消耗品	212 293.900	0	0	0	
2 559 400.000	地 所 買 上 料	2 197 015.350	25 500.000	42 000.000	16 500.000	
278 500.000	家屋其他移転料	641 562.770	7 000.000	7 000.000	0	
0	補 償 金	89 520.470	3 000.000	3 000.000	0	
100,000.000	付帯工事費補助	32 444.000	18 000.000	18 000.000	0	
1 903 710.000	船 舶 乃 機 械 費	884 198.649	239 591.400	398 020.000	158 428.600	
280 690.000	其 他 諸 費	286 703.913	165 000.000	165 000.000	0	
8 000 000.000	合 計	5 456 707.045	1 700 528.600	2 642 740.000	942 211.400	
	大正6年度末 現在物品価格	98 227.000				

吉野川改修費時局ノ影響ニ因ル豫算増額内訳書

費 目	項 目	単位	大正6年度末現在実施残			同上ニ対スル更正予算		差引増加額	摘 要
			数 量	単価	金 額	単価	金 額		
浚渫費	陸上浚渫費	立坪	147 700	0.450	66 465.000	0.880	129 976.000	63 511.000	実施中
	〃	〃	131 500	0.450	59 175.000	0.880	115 720.000	56 545.000	未設計
	〃	〃	46 400	0	0	0	0	0	未設計
築堤費	川中浚渫	〃	259 800	0.464	120 547.200	0.960	249 408.000	128 860.800	未設計
	小 計		585 400		246 187.200		495 104.000	248 916.800	
	築 堤	立坪	266 400	0.550	146 520.000	0.980	261 072.000	114 552.000	実施中
護岸費	〃	〃	507 800	0.550	279 290.000	0.980	497 644.000	218 354.000	未設計
	小 計		774 200		425 810.000		758 716.000	332 906.000	
	護 岸	面坪	22 150	8.000	177 200.000	10.000	221 500.000	44 300.000	実施中
〃	〃	〃	8 080	8.000	64 640.000	10.000	80 800.000	16 160.000	沈床ヲ含ム
	小 計		30 230		241 840.000		302 300.000	60 460.000	未設計

費 目	項 目	単位	大正6年度末現在実施残			同上ニ対スル更正予算		差引増加額	摘 要
			数 量	単価	金 額	単価	金 額		
特種工事費	宮嶋川樋門	個所	1	円	44 500.000	円	44 500.000	円 0	材料購入済ニ ツキ増額ヲ要 セズ施工中
	沖洲川樋門	〃	1		40 100.000		40 100.000	0	〃
	飯尾川樋門	〃	1		9 000.000		9 000.000	0	〃
	第十樋門	〃	1		170 000.000		260 000.000	90 000.000	未設計
	榎瀬江古川樋門	〃	1		65 000.000		100 000.000	35 000.000	〃
	小 計			円	328 600.000		453 600.000	125 000.000	
地所買上料	土 地	反	60	150.000	9 000.000	150.000	9 000.000	0	
	〃	〃	110	150.000	16 500.000	300.000	33 000.000	16 500.000	
	小 計		170		25 500.000		42 000.000	16 500.000	
家屋其他		棟	70	100.000	7 000.000	100.000	7 000.000	0	
移 転 費	小 計		70		7 000.000		7 000.000	0	
補 償 金					3 000.000		3 000.000	0	
	小 計				3 000.000		3 000.000	0	
船舶及び機械費	修 理	坪	1 053 400	0.132	139 048.800	0.220	231 748.000	92 699.200	掘鑿機使用
	〃	〃	259 800	0.387	100 542.600	0.640	166 272.000	65 729.400	浚渫船使用
	小 計		1 313 200		239 591.400		398 020.000	158 428.600	
付帯工事費	樋門及橋梁	個所	3		18 000.000		18 000.000	0	江川、一條樋
補 助	小 計				18 000.000		18 000.000	0	門及橋梁
其他諸費					165 000.000		165 000.000	0	
	小 計				165 000.000		165 000.000	0	
合 計					1 700 528.600		2 642 740.000	942 211.400	

乙号

吉野川改修追加工事予算書

一金1 317 120円也

(施工区域

右岸9里24丁半ヨリ
左岸8里18丁ヨリ

西林ニ至ル)

内訳

費 目	項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
浚 渫 費	川 田 川 浚 渫	立坪	34 000	円 0	円 0	築堤へ計上セルガ故ニ無代
小 計					0	
築 堤 費	左岸川田川築堤	立坪	11 300	0.980	11 074.000	
	左岸西林築堤	〃	12 700	0.980	12 446.000	
	左岸善入寺築堤	〃	35 000	0.980	34 300.000	
	右岸川田山崎築堤	〃	69 500	0.980	68 110.000	
	右岸山崎川島築堤	〃	110 600	0.980	108 388.000	
小 計			239 100		234 318.000	
護 岸 費	右岸川田山崎間	面坪	15 620	10.000	156 200.000	
	左 岸 善 入 寺	〃	15 000	10.000	150 000.000	
小 計			30 620		306 200.000	西林、川島、桑、八幡、秋月、柿 原、各壺ヶ所、川田川2ヶ所 川田川
掘 削 費	左岸西林岩切	立坪	11 000	7.000	77 000.000	
小 計					77 000.000	
特殊工事費	樋 門	個	8	13 000.000	104 000.000	
	橋 梁	〃	1		18 000.000	
小 計					122 000.000	

費 目	項 目	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
地所買上料		反	390	300.000	117 000.000	本川築堤追加工事用
		〃	110	300.000	33 000.000	川田川改修用
		〃	350	300.000	105 000.000	川島, 西林間堤外地
		〃	200	300.000	60 000.000	川島, 第十堰間堤外地
小 計			1 050		315 000.000	
家屋其他移転料		棟	330	100.000	33 000.000	本川築堤追加工事用
		〃	100	100.000	10 000.000	川島, 西林間堤外地
		〃	100	100.000	10 000.000	川島, 第十堰間堤外地
小 計			530		53 000.000	
補償金					12 000.000	築堤用追加工事用
					30 000.000	川島, 西林間堤外地
小 計					42 000.000	
船舶及び機械費	修 理	坪	239 100	0.220	52 602.000	
小 計					52 602.000	
其他諸費					115 000.000	
小 計					115 000.000	
合 計					1 317 120 000	

(参考)

単 価 調

工費ト修繕費トノ割合ヲ対照スレバ下ノ如シ

工 費	掘 鑿 機				浚 渫 船			
	大正5年度平均		想定単価		大正5年度平均		想定単価	
	坪当	百分率	坪当	百分率	坪当	百分率	坪当	百分率
賃 金	厘		厘		厘		厘	
消 耗 品	326	56	370	34	286	34	365	23
修 繕 及 手 入	124	21	510	46	178	21	595	37
計	132	23	220	20	387	45	640	40
	582	100	1 100	100	851	100	1 600	100

物 価 調

当川ニテ使用スル重ナル材料ノ価格ヲ対照スレバ下ノ如シ

1. 消耗品

品 目	単 位	大正5年度買入品		最近買入品		増加 割合	摘 要
		年 月	価 格	年 月	価 格		
石 炭	万斤	大正5年6月	40.500	大正7年4月	129.900	3.21	
車 軸 油	升	〃	0.155	大正6年12月	0.322	2.08	
シリンダー油	〃	大正5年5月	0.275	〃	0.420	1.53	
エンジン油	〃	〃	0.210	大正6年10月	0.414	1.97	
ボ 口	貫	大正5年4月	0.350	大正7年4月	0.650	1.86	
白 絞 油	舁	大正5年5月	0.490	大正7年3月	0.860	1.76	大正7年3月ニ買入レタル分ハ缶代ヲ除ク

2. 材料

品 目	単位	大正 5 年度買入品		最近買入品		増加 割合	摘 要
		年 月	価 格	年 月	価 格		
セメント 松丸太 長 9 尺 末 4 寸	樽 本	大正5年11月	円 4.500	大正6年12月	円 7.200	1.56	
		大正5年度	0.280	大正7年2月	0.470	1.68	

3. 労力費

職名	単位	大正5年度平均	大正7年4月相場	増加割合	摘 要
		円	円	割	
石 工	人	1.010	1.300	2.87	
大 工	〃	1.169	1.200	0.27	
男人夫	〃	0.532	0.720	3.53	
女人夫	〃	0.313	0.450	4.38	

物価騰貴ノ割合

今後ノ工事区域ハ重ニ土砂ヲ遠距離ニ運搬スル必要アルヲ以テ主トシテ機関車ヲ用ヒ輕便軌條ヲ使用スル箇所少キ見込ナリ

一. 消耗品費

土工ニ要スル重ナル消耗品ハ別表記載ノ石炭及油類ナリト雖モ就中其大部分ヲ占ムル主要品ハ石炭ナリ而シテ石炭ハ別表ニアルガ如ク大正五年六月ニ此シ三倍二分強ニ騰貴シタリ而シテ今後ノ施工区域ハ三千間内外ノ遠距離ニ運搬スル箇所多キヲ以テ今後ハ益々消耗品費ヲ増加スル見込ナリ

二. 労力費

土工ニ要スル労力費ハ工夫、定夫、男人夫、女人夫、運転手、火夫、高給船員、下給船員、石工、大工、牛馬付人夫、船付人夫等ニ区分セラルルト雖トモ其大部分ヲ占ムルモノハ男人夫ニシテ前記総人員、約八割ニ当ル而シテ男人夫賃金ハ別表ニアルガ如ク大正五年度ニ此シ三割五分強ニ騰貴シタリ而シテ工夫、定夫、運転手、火夫、船員等モ漸次増給スルノ必要アルヲ以テ労力費ノ騰貴率ハ三割五分強ナリト認ム

収第四〇五号

大正十年七月二十日

土木局長ノ照会案伺

案

年 月 日

所 長

土木局長宛

本月十六日付発第一五五号ヲ以テ当所所属河川改修費十一年度以降予算増加内定額ニヨリ更ニ予算内訳書調製提出可致旨御照会ノ次第モ有之候處其増加内定額ヲ見ルニ九頭竜川以外ノ河川ハ当所ノ増加要求額ニ比シ著シク減額セラレ然モ其減額歩合ヲ各川区々ニ相成居候ニ付テハ夫々相当根拠アル義ト被存候ニ付各川毎ニ減額ノ内容ヲ詳細承知致度右ハ更正予算内訳書調製上必要ニ付折返シ御回報有之度此段及照会候也

発第一五五号

大正十年七月二十七日付

河川改修費予算増額調書ノ件回答

・・・・内容ニ付査定シタルモノニ無之国庫財政ノ都合上此際多額ノ増加要求為シテ困難ナル事情ニ因リ不已得差向キ或程度ノ増額ニ止メンカ為メ・・・・

発第三三三号

大正七年十月五日

堀田内務省土木局長

岡崎大阪土木出張所長殿

河川改修費予算ノ件照会

河川改修予算増額ノ義予テ御申出ノ次第モ有之候処右ハ来年度以降改修費年度割ヲ別紙ノ通改定ノ見込ヲ以テ概算請求致候ニ付右ニ依リ来年度改修費予算書類（内訳書・目論見書等添付）式通至急調製御差出相成度

九頭竜川外三川改修費改定年度割表

	九頭龍川	高梁川	吉野川	淀川下流
八年度	218 405	767 000	1 270 000	265 000
九年度	—	748 429	1 320 000	262 322
十年度	—	—	1 145 540	—
計	218 405	1 515 429	3 735 540	527 322

大正8年度吉野川改修工事設計予算書

施行区域 左岸阿波郡林村 以下海ニ至ル
右岸麻植郡川田村

工 種	細 目	単位	数 量	単 価(円)	金 額(円)	摘 要
築 堤		立坪	350 000.00	0.980	343 000.000	
小 計					343 000.000	
浚 渫	陸 上 浚 渫	立坪	100 000.00	0.880	88 000.000	
	川 中 浚 渫	”	80 000.00	0.960	76 800.000	
小 計					164 800.000	
護 岸		面坪	20 000.00	10.000	200 000.000	
小 計					200 000.000	

工 種	細 目	単位	数 量	単 価(円)	金 額(円)	摘 要
掘 鑿	西 林 岩 切	立坪	1 700.00	7.000	11 900.000	
小 計					11 900.000	
特 殊 工 事	第 十 樋 門	個所	1		130 000.000	
	樋 門	〃	3	13 000.000	39 000.000	
小 計					169 000.000	
土 地 買 収		町	60.0	3 000.000	180 000.000	
小 計					180 000.000	
家屋其他移転		棟	300	100.000	30 000.000	
小 計					30 000.000	
合 計					1 098 700.000	

上之通候也

大正7年10月11日
内務技師 三浦矩明

吉野川改修工事一位代価表

工 種	名 称	単位	数 量	単 価(円)	金 額(円)	摘 要
築 堤	傭 人 料				0.385	
立 壱 坪	消 耗 品				0.595	
計					0.980	
浚 渌	傭 人 料				0.370	
立 壱 坪	消 耗 品				0.510	
計					0.880	
浚 渌	傭 人 料				0.365	
立 壱 坪	消 耗 品				0.595	
計					0.960	
護 岸	粗 朶	束	20.0	0.220	4.400	
面 壱 坪	柵 粗 朶	〃	0.8	0.300	0.240	
	抗 木	〃	1.0	0.210	0.210	
	棕 梠 縄	房	1	0.200	0.200	
	二 子 縄	〃	4	0.030	0.120	
	三 子 縄	筋	4	0.020	0.080	
	割 石	立坪	0.10	17.500	1.750	
	砂	〃	0.50	0	0	
	人 夫	人	10.00	0.300	3.000	
計					10.000	
岩 切	爆 発 用 品				1.000	
立 壱 坪	石 工 夫	人	9.00	0.500	4.500	
	人 夫	〃	5.00	0.300	1.500	
計					7.000	

右之通り

発第三五七号

大正七年十月二十五日

堀田内務省土木局長

岡崎大阪土木出張所長殿

河川改修費追加額内訳ノ件照会

本年度以降河川改修費別紙追加額ノ内時局ノ影響ニ因ル増額ト設計ノ追加変更ニ因ル増額トヲ毎年度ニ区分シ年割額折返シ御申越相成度又時局ノ影響ニ因ル増加額ヲ別紙様式ニ準シ工程別ニ増率ヲ示シ是亦至急追送相成度

河川改修費追加額内訳年度割

	九頭龍川			高梁川			吉野川			淀下流		
	情勢ノ影響ニヨルモノ	設計ノ変更追加ニヨルモノ	追加額計	情勢ノ影響ニヨルモノ	設計ノ変更追加ニヨルモノ	追加額計	情勢ノ影響ニヨルモノ	設計ノ変更追加ニヨルモノ	追加額計	情勢ノ影響ニヨルモノ	設計ノ変更追加ニヨルモノ	追加額計
8年度	35 205	63 200	98 405			367 000			520 000			265 000
9年度						365 059			520 000			262 322
10年度									515 540			
計	35 205	63 200	98 405	431 328	300,731	732 059	1 220	1 554 320	1 555 540	149 822	477 500	527 322

備考

吉野川ノ分時局ノ影響ニ因ル増額ハ八二四、二七六円八〇〇ナルモ従来工費剰余金ノ内ヨリ八二三、〇五六円七五五ヲ補充シ得ルヲ以テ差引本表ノ通り追加スルモノトス又同川ノ分設計変更追加ニ因ル増額ハ一、八七七、七六〇円ナルモ是亦従来ノ剰余金ノ内ヨリ三二三、四四〇円ヲ補充シ得ルヲ以テ差引本表ノ通り追加スルモノトス

河川改修費追加額内訳年度割

	九頭龍川			高梁川			吉野川			淀川		
	情勢ノ影響ニヨルモノ	設計ノ変更追加ニヨルモノ	追加額計	情勢ノ影響ニヨルモノ	設計ノ変更追加ニヨルモノ	追加額計	情勢ノ影響ニヨルモノ	設計ノ変更追加ニヨルモノ	追加額計	情勢ノ影響ニヨルモノ	設計ノ変更追加ニヨルモノ	追加額計
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
大正8年	35 205	63 200	98 405	183 500	183 500	367 000	0	520 000	520 000	49 822	215 178	265 000
大正9年	0	0	0	247 828	117 231	365 059	0	520 000	52 000	0	262 322	262 322
大正10年	0	0	0	0	0	0	1 220	514 320	515 540	0	0	0
計	35 205	63 200	98 405	431 328	300 731	732 059	1 220	1 554 320	1 555 540	49 822	477 500	527 322

備考

吉野川ノ分時局ノ影響ニ因ル増額ハ九四二、二一一円四〇〇ナルモ従来工費剰余金ノ内ヨリ九四〇、九九一円三五五ヲ補充シ得ルヲ以テ差引本表ノ通り一、二二〇円ヲ追加スルモノトス

時局の影響ニ因ル吉野川改修費増加額算出内訳

	工事 数量	従来 の 単価	従来 の 工費額	更正 単価	更正 工費額	増率	増 額	摘 要
	坪	円	円	円	円	割	円	
浚	585 400	0.420	246 187.200	0.846	495 104.000	20.2	248 916.800	
築	774 200	0.550	425 810.000	0.980	758 716.000	17.8	332 906.000	
護	間							
特	30 230	8.000	241 840.000	10.000	302 300.000	2.5	60 460.000	
殊			93 600.000		93 600.000		0	増額を要セザルモ
工			235 000.000		360 000.000	5.3	125 000.000	イノハ材料ヲ購入
事								シ工事モ過半成功
								セシニヨル
地所買い上げ	反 60	150.000	9 000.000		9 000.000		0	9 000円は増額を
地上物件移転	110		16 500.000	300.000	33 000.000	20.0	16 500.000	要セザル見込
			10 000.000		10 000.000		0	増額ヲ要セザル見
付帯工事費補助			18 000.000		18 000.000		0	込ミ
船舶機械			239 591.400		398 020.000	6.6	158 428.600	〃
測量費以下の諸費			165 000.000		165 000.000		0	増額ヲ要セザル見
計			1 700 528.600		2 642 740.000		942 211.400	込

備 考

従来ノ単価ハ時局ノ影響ヲ受ケザリシ大正五年度平均ヲ酌量シテ定メ又更正ノ単価ハ時局ノ影響ヲ受ケタル大正六年度下半季以降ノモノヲ酌量シテ定メタリ

収発八三六号

大正七年十月三十日

河川改修費追加額内訳ノ件解答案伺

案

本年度以降河川改修費追加額内訳取調ノ件ニ付本月二十五日付発第三五七号ヲ以テ御照会ノ趣了承別紙五通及送付候也

月 日

所 長

土 木 局 長 宛

収第五九八号

大正七年十二月二十一日

河川改修費増額予算書土木局長へ提出案伺

案

淀川外三川改修費増額ニ対スル大正八年度予算設計書並ニ歳出概算書更正提出方本月十二日付発第三三三三号ヲ以テ御照会ノ趣了承別紙各ニ通及送付候也

所 長

土 木 局 長 宛

追テ本件工事ノ内淀川外二川ハ其施行年限短期ナルヲ以テ時局ノ影響ニヨル差金ト追加工事ニ
 対スル予算金ニ対シ壹割以上ノ削減ヲ加ヘラレタルハ苦痛トスル処ナルモ至急ヲ要セラルルニツ
 キ取敢ス御通知ノ金額ニ基キ提出シタルモ来年度施行ノ模様ニ依リテハ再調ノ上更ニ其増加ヲ要
 求スル場合可有之ヤモ計リ難クニツキ其辺予メ御承知相成度此段申添候

発第三三三号

大正七年十二月十二日

堀田内務省土木局長

岡崎大阪土木出張所長殿

河川改修費増額ノ件照会

予テ御申出ニ係ル標記ノ件左記ノ通増額ノコトニ内定セラレ候條左様御承知ノ上別紙来年度予
 算設計書更正ノ上折返シ御送付相成度

記

		8 年度	9 年度	10 年度	計
九頭龍川	時局ノ影響ニ因ル増額	35 205			35 205
	設計追加ニ因ル増額	63 200			63 200
	計	98 405			98 405
高 梁 川	時局ノ影響ニ因ル増額	150 000	232 978		382 978
	設計追加ニ因ル増額	150 000	117 022		267 022
	計	300 000	350 000		650 000
吉 野 川	時局ノ影響ニ因ル増額			1 000	1 000
	設計追加ニ因ル増額	400 000	500 000	489 000	1 389 000
	計	400 000	500 000	490 000	1 390 000
淀 下 流	時局ノ影響ニ因ル増額	49 822			49 822
	設計追加ニ因ル増額	215 178	200 000		415 178
	計	265 000	200 000		465 000

備考

- 一. 九頭龍川ノ分ハ当初ノ要求ト異動ナシ
- 一. 淀川下流ノ分ハ総額ハ異動セルモ大正八年度分ニ異動ナシ

収第五九八号

大正七年十二月十七日

河川改修費増額ノ件ニ付キ土木局長へ照会案伺

案

河川改修費予算設計書更正ノ件ニ付本月十二日付発第三三三号ヲ以テ御照会ノ趣了承然ルニ高
 梁川外二川ニ属スル増額総計金ハ曩キニ当所ヨリ提出セシ金額ニ比シ何レモ減額セラレタルハ何
 ニカ準據セラレタルモノ可有之トハ存シ候ヘトモ何等御申越コレナク候間其内容承知致シ度此段
 及照会候也

月 日

所 長

土 木 局 長 宛

大正七年十二月十九日

土木局長

大阪土木出張所

電報

本月十二日照会予算要求書更正ノ件大至急回答アリタシ尚減額ハ大蔵省査定ニヨル

大正七年十二月十九日

河川改修費増額予算更正ノ件ニ付土木局長へ返電案伺

案

予算更正要求書ノ件ハ工事ヲ認メ単価ヲ減シタルモノナルヤ若シ工事ニツキ査定削減セラレタルモノナラバ其内容知リタシスグヘン

所 長

土木局長宛

大正七年十二月二十一日

河川改修費増額費減額ノ内容土木局長へ回答電報案伺

案

淀外三川改修費増額予算要求調製上必要ニツキ十九日電報回答ノ件至急返電アリタシ

所 長

土 木 局 長 宛

十二月二十一日

電報

予算ハ総額ヨリ約壹割ノ点引ニナリ工事ハ認メラル

大正七年十二月二十二日

河川改修費増額予算書提出セシ旨土木局長へ電報案伺

案

淀外三川改修費増額予算書今日出シタ

所 長

土 木 局 長 宛

大正8年度吉野川改修費増額工事設計予算書

施工区域 左岸阿波郡林村 以下海ニ至ル
右岸麻植郡川田村

工 種	細 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
築	堤	立坪	90 000	円 0.880	円 79 200.000	追加工事
小	計				79 200.000	
浚	渫	立坪	10 000	0.790	7 900.000	追加工事
	陸上浚渫	〃	10 000	0.860	8 600.000	〃
小	計				16 500.000	
護	岸	面坪	5 000	9.000	45 000.000	追加工事
小	計				45 000.000	
堀	鑿	立坪	1 700	6.300	10 710.000	追加工事
小	計				10 710.000	
樋	門	個所	1		88 690.000	追加工事ノ設計ノ一部
小	計				88 690.000	
付帯工事費補助					20 000.000	
小	計				20 000.000	
土地買収		町	30	2 700.000	81 000.000	
小	計				81 000.000	
家屋其他移転		棟	160	90.000	14 400.000	
小	計				14 400.000	
合 計					355 500.000	

上之通候也

大正7年12月

内務技師 三浦矩明

吉野川改修費増額工事一位代価表

工 種	名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
築	堤			円	円	
	立堦坪				0.346	
	計				0.534	
浚	渫				0.880	
	立堦坪				0.332	
	計				0.458	
浚	渫				0.790	
	立堦坪				0.328	
	計				0.532	
護	岸				0.860	
	面堦坪	束	20.0	0.200	4.000	
		〃	0.8	0.300	0.240	
		〃	1.0	0.210	0.210	
		房	4	0.200	0.200	
		〃	4	0.030	0.120	
		筋	0.10	0.020	0.080	
	割	立坪		17.500	1.750	

工 種	名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
岩 切 立堦坪 計	砂	立坪	0.50	円 0	円 0	
	人 夫	人	8.00	0.300	2.400	
					9.000	
	爆 発 用 品				1.000	
	石 工 夫	人	8.20	0.500	4.100	
	人 夫	〃	4.00	0.300	1.200	
計					6.300	

上之通り

内務省発土第五三号

大正八年四月二十八日

堀田内務省土木局長

岡崎内務省大阪土木出張所長殿

高梁川外三川改修費追加ノ件

依命通牒

高梁川吉野川及淀川下流改修工事ノ義ハ大正八年度以降ニ於テ差向キ別紙表年度割ノ通り工費
予算不足額及設計ノ追加ニ要スル費用ヲ追加シ又九頭龍川改修工事ノ義ハ大正八年度ニ於テ工費
予算不足額金参万五千貳百五円並設計追加ノ為金六万参千貳百円合計金九万八千四百五円ヲ追加
シ施行ノコトニ決定相成候条右様御承知ノ上実施可相成

治水事業費増額年度割表

		九頭龍川	高梁川	吉野川	淀川下流
大正8年度	時局ノ影響ニ因ルモノ	35 205	150 000		49 822
	設計ノ追加ニ因ルモノ	63 200	150 000	400 000	215 178
	計	98 405	300 000	400 000	265 000
大正9年度	時局ノ影響ニ因ルモノ		232 978		
	設計ノ追加ニ因ルモノ		117 022	500 000	200 000
	計		350 000	500 000	200 000
大正10年	時局ノ影響ニ因ルモノ			1 000	
	設計ノ追加ニ因ルモノ			489 000	
	計			490 000	
合 計	時局ノ影響ニ因ルモノ	35 205	382 978	1 000	49 822
	設計ノ追加ニ因ルモノ	63 200	267 022	1 389 000	415 178
	計	98 405	650 000	1 390 000	465 000

発第八七号

大正九年五月二十八日

堀田内務省土木局長

岡崎大阪土木出張所長殿

治水事業費予算増額ニ関スル件照会

大正十年以降治水事業予算改定要求ノ見込ニ付淀川下流高梁川吉野川九頭龍川改修及淀川附属物維持費増額ノ義取調遅クモ六月十五日迄に御提出相成度

収第三五八

大正九年六月拾七日

土木局長へ回答案

案

年 月 日

所 長

土木局長宛

治水事業費予算増額ニ関スル件回答

客月廿八日付発第八七号ヲ以テ淀川下流高梁川吉野川九頭龍川改修及淀川付属物維持費増額調ノ義ニ付御照会ノ趣了承取調候處別冊ノ通りニ候間可然御取計相成度

治水事業費予算増額説明書(第三回変更増額申請)

淀川下流高梁川吉野川及九頭龍川改修工事ハ大正七年ニ於テ時局ノ影響ニヨル予算ノ増額ト共ニ追加工事ノ認可ヲ受ケ施行中ノ處爾來物価勞銀益々暴騰シ到底現予算ヲ以テ既定ノ事業ヲ遂行スルコト不可能ナルヲ以テ八年度残工事ニ対シ本年三月ニ於ケル物価勞銀ヲ基礎トシテ調査セシニ其結果左記表示ノ如ク予算増額ノ必要ヲ生スルニ至レリ、其ノ内容ハ各川ノ予算増額調書ニ於テ説明スベキモ爰ニ一言ヲ要スルハ從來別途ノ費用ヲ以テ支出セラレタル雇員以下ノ臨時手当ヲ事業費中ヨリ支弁スルコトニ改定セラレタル結果本予算ニ於テハ總テ之ヲ各本給ニ加算計上セルヲ以テ之カタメ前記四ヶ川ニ於テ一ヶ年約拾六万八千円ヲ増加セルコト是レナリ、淀川付属物維持モ物価勞銀ノ騰貴臨時手当ニ代ルベキ本給ノ増額(一ヶ年約壹万參千五百円)及来年度ヨリ伝法第二閘門ノ開通及六軒屋洗堰ノ管理等維持事業増加ノタメ年割額予算ニ著シキ増額ノ必要ヲ生スルニ至レルヲ以テ共ニ之ヲ計上セリ

河 川 名	予算増加額	年 度 割				
		10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
	円	円	円	円	円	円
淀 川 下 流	298 431	298 431				
高 梁 川	2 776 225	1 100 000	1 000 000	676 225		
吉 野 川	3 965 284	既定年度割ノ通り	1 000 000	1 000 000	1 000 000	965 284
九 頭 龍 川	609 589	400 000	209 589			
淀川付属物維持	40 000					

備 考

淀川附属物維持費ハ既定年度割額貳万五千元ニ前項四万円ヲ加ヘタル六万五千元ヲ以テ十年度以降ノ年割額トナル

尚前項予算増加額ハ大正七年ニ於ケル増額要求ニ対シ減額セラレタルモノニヨレルモ今之ヲ當時ノ要求額ニヨリ差引スルトキハ結局左記ノ増加額トナル

淀川下流 二三六、一〇九円
 高梁川 二、六九四、一六六
 吉野川 三、八〇〇、九六二

吉野川改修工事予算増額調査書

一金六百五拾五万八千八百八拾円也

大正八年度末残工事予算金

内

金式百五拾八万五千五百九拾五円貳拾銭五厘

大正八年度末現在既定予算残金

内 訳

金式百五拾参万貳千四百五拾八円貳拾銭五厘

大正八年度末現在予算残金

金五万参千百参拾七円

大正八年度末現在物品価格

差 引

金参百九拾六万五千貳百八拾四円七拾九銭五厘

今回増加ヲ要スベキモノ

吉野川改修工事予算増額比較表

費 目	既定予算高	大正8年度迄 支 出 高	大正8年度末 残工事更正予算高	差引過不足	摘 要
	円	円	円	円	
浚 渫 費	1 038 100.000	771 907.383	586 240.000	320 047.383	内訳表ノ通り
堤 防 費	1 618 708.000	469 661.000	1 738 980.000	589 933.000	〃
護 岸 費	633 800.000	94 691.580	1 160 000.000	620 891.580	〃
制 水 費	165 000.000	0	0	165 000.000	第十運河ニ設計変更
掘 鑿 費	69 300.000	0	165 000.000	95 700.000	内訳表ノ通り
旧堤取払費	0	6 271.210	0	6 271.210	
特殊工事費	255 690.000	332 895.710	1 076 700.000	1 153 905.710	内訳表ノ通り
地所買上料	2 842 900.000	2 230 631.900	535 100.000	77 168.100	〃
家屋其他移転料	326 200.000	641 585.450	134 000.000	449 385.450	〃
補 償 金	9 300.000	116 708.300	106 600.000	214 008.300	〃
船舶機械用消耗品	0	376 811.470	0	376 811.470	
船舶及機械費	1 987 210.000	1 381 881.619	587 260.000	18 068.381	内訳表ノ通り
付帯工事費補助	120 000.000	35 462.000	26 000.000	58 538.000	〃
雑 費	323 792.000	399 034.173	435 000.000	510 242.173	
合 計	9 390 000.000	6 857 541.795	6 550 880.000	4 018 421.795	

予算内訳表

浚渫費

種 目	単位	大正8年度末残工事			適 要
		数 量	単 価	金 額	
陸 上 浚 渫	立坪	38 100	円 1.900	円 72 390.000	堤防ニ計上セルヲ以テ無代
〃	〃	131 500	1.900	249 850.000	
川 中 浚 渫	〃	120 000	2.200	264 000.000	
川 田 川 浚 渫	〃	34 000	0	0	
計		323 600		586 240.000	

備 考

別宮川ニ於ケル川中浚渫ハ現予算ニ於テ大正八年度末ニ約二二二、五〇〇坪ヲ残セルモ出水ノ結果河床変動シ今日ノ状態ニテハ差当リ約拾万坪ノ浚渫ヲ以テ足ル見込ナリ而シテ二〇、〇〇〇坪ハ第十運河ノ浚渫土量ニ属セリ

堤防費

種 目	単位	大正8年度末残工事			適 要
		数 量	単 価	金 額	
堤 防	立坪	183 400	円 2.200	円 403 480.000	施行中
〃	〃	152 700	2.200	335 940.000	未着手
〃	〃	155 400	2.200	341 880.000	右岸川島山崎間
〃	〃	100 200	2.200	220 440.000	右岸山崎川田間
〃	〃	26 900	2.900	78 010.000	左岸西林堤
〃	〃	11 300	2.200	24 860.000	川田川兩岸堤
〃	〃	115 300	2.900	334 370.000	善入寺左岸堤
計		745 200		1 738 980.000	

護岸費

種 目	単位	大正8年度末残工事			適 要
		数 量	単 価	金 額	
護 岸	面坪	17 000	円 20.000	円 340 000.000	施行中
〃	〃	10 600	20.000	212 000.000	未着手
〃	〃	17 750	20.000	355 000.000	右岸川島川田間
〃	〃	750	20.000	15 000.000	左岸西林堤
〃	〃	11 900	20.000	238 000.000	善入寺左岸堤
計		58 000		1 160 000.000	

掘鑿費

種 目	単位	大正8年度末残工事			適 要
		数 量	単 価	金 額	
左岸西林岩切	立坪	11 000	円 15.000	円 165 000.000	
計				165 000.000	

特種工事費

種 目	単位	大正8年度末残工事			適 要
		数 量	単 価	金 額	
第 十 樋 門	個所	1	円	581 700.000	施工中
榎瀬江古川樋門	〃	1		165 000.000	未着手
宮 島 川 樋 門	〃	1		15 000.000	門扉
沖 洲 川 樋 門	〃	1		15 000.000	〃
床 固 及 水 路				40 000.000	鮎食川左岸堤欠壊個所復旧ニ 代ルベキ施設
樋 門	個所	5	30 000.000	150 000.000	岩津, 川島, 桑, 山崎, 川田
〃	〃	2	35 000.000	70 000.000	八幡, 柿原
橋 梁		1		40 000.000	川田県道に架設
計				1 076 700.000	

付帯工事費補助

種 目	単位	大正8年度末残工事			適 要
		数 量	単 価	金 額	
樋 門	個所	1	円	20 000.000	江川樋門未着手
橋 梁	〃	1		6 000.000	第十運河架設未着手
計				26 000.000	

地所買上料

種 目	単位	大正8年度末現在			適 要
		数 量	単 価	金 額	
土地及物件移転			円	10 000.000	本川筋川島より以下の分
〃				189 600.000	善入寺左岸堤敷地
土 地	反	610	550.000	335 500.000	上島西林間川田川とも
計				535 100.000	

家屋其他移転料

種 目	単位	大正8年度末現在			適 要
		数 量	単 価	金 額	
家 屋 移 転	建坪	3 100	円 40.000	124 000.000	川島, 西林間
地上物件移転				10 000.000	〃
計				134 000.000	

補償金

種 目	単位	大正8年度末現在			適 要
		数 量	単 価	金 額	
認 定 地 補 償	反	410	円 260.000	106 600.000	川島, 西林間
計				106 600.000	

船舶及機械費

種 目	単位	大正8年度末残工事			適 要
		数 量	単 価	金 額	
修 理	立坪	772 600	円 0.400	円 309 040.000	機械運搬ニヨル工事 浚渫船曳船使用工事 「トロ」使用工事
〃	〃	120 000	2.200	264 000.000	
〃	〃	142 200	0.100	14 220.000	
計				587 260.000	

発第八七号

大正九年六月十九日

堀田内務省土木局長

岡崎大阪土木出張所長殿

治水事業費予算増額之件照会

本月十七日収第三五八号ヲ以テ治水事業費予算増額ノ件御回答相成候処

- 一、物価騰貴ノ影響ニ依ル不足額ト設計ノ追加変更等ニ依ル不足額トヲ区分シ其ノ増額追加年度割調整御差出相成度
- 一、吉野川改修費ハ大正七年度中金百五拾五万五千五百四拾円増額ノ御申出ニ対シ大正八年度以降ニ於テ金百参拾九万円増額ノ義決定相成居差引将来尚金拾六万五千五百四拾円追加ヲ要スルコト相成居候処今回ノ御申出ニ依レハ前記当初ノ増加見込ニ比シ更ニ金参百八拾万九百六拾貳円増額ヲ要スル趣ニ有之就テハ今後ノ追加要求額合計金参百九拾六万六千五百貳円ト可相成様被存候處今回御提出ノ増額調査書及其年度割表ニ依レハ金参百九拾六万五千貳百八拾四円増額ヲ要スルコトト相成居彼是符合不致候付御再調相成度

収三五八

大正九年六月廿一日

土木局長回答案

案

年 月 日

所 長

土 木 局 長 宛

治水事業費予算増額ノ件回答

本月十九日付発第八七号ヲ以テ標記ノ件ニ関シ御照会次第モ有之候処右ハ左記ノ通りニ候

- 一、物価騰貴ニ依ル不足額ト設計ノ追加変更等ニヨル不足額トヲ区分シ云々トアレトモ九頭龍川ニ於ケル護岸工事節約ノ目的ヲ以テ施設スル仮設工事高梁川ニ於ケル水害復旧ノタメニスル護岸裏掘工事及吉野川ニ於ケル特殊工事中鮎喰川左岸堤防欠潰箇所復旧ニ代ルベキ床固並ニ水路ノ如キ其他実施ノ結果ニヨル工事数量ノ多少ノ増減等ハ有之候得共是等ハ特ニ追加又ハ変更トシテ要求スベキ程度ノモノニ無之候存候間御了知相成度
- 一、第二項ハ予算増額説明書末項吉野川三、八〇〇、九六二円トアルハ三、七九九、七四四ノ誤記ニ候間御訂正ヲ煩ハシ度候以下一括ハ松島技平上京（九年六月廿二日出発三十日帰所）提

出セシモノナリ

吉野川改修予算増額説明書

大体ニ渉ル説明ハ治水事業費予算説明書ニ記載セルヲ以テ爰ニ其内容ニ付テ説明スベシ先ツ主ナル工事ニ付テ大正七年ニ調査セシ七年度以降ノ工事数量ヲ基礎トシテ算出シタル九年度以降ノ更正数料トヲ対象シ其増減ヲ示セハ下表ノ如シ

工事名称	7年度以降 工事数量	7, 8両年度 竣巧高	9年度以降 残工事数量	9年度以降 更正工事数量	差引増(減)
浚 渫 陸 上	159 600立坪	127 754	231 846	203 600	28 246
〃 水 中	259 800	37 296	222 504	120 000	102 504
掘 削	11 000	0	11 000	11 000	0
築 堤	1 013 300	229 708	783 592	745 200	38 392
護 岸	86 910面坪	23 480	63 430	58 000	5 430

◎築堤ハ屈曲甚シキ箇所ハ新堤ヲ築ク予定ナリシヲ今回ハ可成旧堤ヲ利用スルコトニ改メタルニ
ヨル陸上浚渫ノ減ハ洪水ノタメ河床変動ノ結果ニヨルト護岸ノ減ハ堤防位置ノ変更及河床ノ変動
ノ結果ナリ

以上表ノ如ク工事数量ノ減少セシ理由ハ

- 一、陸上浚渫築堤及護岸工事ノ減セシハ当初ノ計画ト実施ノ結果ニヨル異動ニシテ◎但シ実施設計未了ノモノハ原計画数量ニヨリ計算セリ
- 一、水中浚渫ノ減セシハ出水ノタメ別宮川ノ河床変動シ今日ノ状態ニ於テハ九年度以降ノ残工事数量ニ二二、五〇四立坪ニ対シ今後差当リー〇、〇〇〇立坪浚渫ヲ以テ足ル見込ナルヲ以テ之カタメ差引一二二、五〇四立坪ヲ減ス而シテ此減額数量ト前表ノ減額数数量トノ差二〇、〇〇〇立坪ハ第十運河ノ浚渫工量ニ属ス今前記ノ工量ニ付テ物価労銀ノ騰貴ニヨル工事費単価増額ノ割合ヲ示セハ左表ノ如シ

工事名称	単位	単 価		増額割合
		大正7年調査	今回の調査	
浚 渫 陸 上	立坪	0. 880	1. 900	11割6分
〃 水 中	〃	0. 960	2. 200	12割9分
掘 削 岩 切	〃	7. 000	15. 000	11割4分
築 堤	〃	0. 980	2. 334	13割8分
護 岸	〃	10. 000	20. 000	10割

前表ニ於テ

水中浚渫及築堤単価ノ増加率比較的高キヲ見ルハ物価殆ニ石炭及労銀ノ暴騰以外該工事ニ使用スル主ナル船舶機械ノ能率ノ減退或ハ築土砂運搬ノ困難ナル等ニヨル又各費目ニ付テ大正七年調査ノ七年度以降所要見込額ト七、八両年度中ノ支払額ニ今回調査ノ九年度以降所要見込額ヲ合シタルモノトヲ比較シ其増額割合ヲ示セハ左ノ如シ

浚渫費	三割八分
掘削費	十一割四分
築堤費	九割四分
護岸費	四割八分
特種工事費	十一割九分
土地買上移転及補償金	八割一分
附帯工事費補助	六割一分
船舶機械費	十四割一分
其他諸費	九割五分

上記の如ク

- 一、浚渫費及護岸費ノ増加率低キハ工事数量増減ノ項ニ於テ説明セル如ク浚渫土量約十二万三千立坪護岸約五千面坪ヲ減シタルニヨル
- 一、掘削費ノ増加率高キハ全部未着手ニシテ今後ノ施行ニ属スル故ナリ
- 一、特殊工事ハ実施設計ニ於テ樋門一ヶ所其工費一万三千円（七年調査）ヲ減シ得ル見込ナルモ一面吉野川改修工事ニ於テ築設シタル鮎喰川左岸堤防ノ一部大正七年ノ洪水ニヨリ決潰セシ箇所ニ対シ其後精査考究ノ結果寧口或程度迄之ヲ開放スルノ得策ナルヲ認メタルニヨリ堤防ノ復旧ニ代ル施設トシテ施工ノ必要アル同所ノ床固及聯絡水路工事ノ費用四万円ヲ計上セシタメ比較的増加率昇騰セリ
- 一、船舶機械費ノ増加率高キハ現在使用ノ浚渫曳船掘削機及機関車等已ニ相応ノ年既ヲ経過セシタメ故障頻出其修理ニ多額ノ費用ヲ要スルニヨル

吉野川改修工事費予算増額比較調

費 目	7年度以降 更正所要額	7,8年度 支払額	9年度以降 予算残額	9年度以 降所要額	差 引 増	7年度以降是正所要 額ニ対スル増額歩合
	円	円	円	円	円	
浚 渫 費	495 104	99 238	395 866	586 240	190 374	1.38
掘 削 費	77 000	0	77 000	165 000	88 000	2.14
築 堤 費	993 034	189 331	803 703	1 738 980	935 277	1.94
護 岸 費	845 700	88 547	757 153	1 160 000	402 847	1.48
特 殊 工 事 費	575 600	185 143	390 457	1 076 700	686 243	2.19
船舶機械用消耗品	0	164 518	過 164 418	0	164 518	—
土地買収移転補償金	462 000	61 027	400 973	775 700	374 727	1.81
付帯工事費補助	18 000	3 018	14 982	26 000	11 018	1.61
船 舶 機 械 費	450 622	497 683	過 47 061	587 260	634 321	2.41
其 他 諸 費	280 000	112 330	167 670	435 000	267 330	1.95
計	4 197 060	1 400 835	2 796 225	6 550 880	3 754 655	1.89
	7年増額要求 1 555 540円ヲ含ム					

備考

- 一、計金ニ於テ一円若クハ二円ノ差アルハ四捨五入円止メトセシ結果ニヨル
- 一、七年度以降更正所要額ニ計上ナキ船舶機械用消耗品ノ費目ヲ設ケタルハ計画ニ於テハ其船舶機械ヲ使用スル各工事費中ニ含入センモ実施ニ際シ整理上便宜ノタメ分割シタルニヨル

大正十年四月提出第二回取調ノ分
(十年参月ニ於ケル人夫職工其他材料ノ単価ニ相当
訂正ノ上調製方上京中ノ所長ヨリノ通知ニヨリ作成ノ分)

謹啓予算増額調書ノ義甚ダ延引仕候處茲に及御送付候間御落手被成下度候尚左記本項ニ付書類
作製ノ必要御座候ハバ何分ノ御指示ニ預リ度此段申添候

大正拾年四月十二日

三浦技師

岡崎所長殿

記

- 一. 吉野川前年提出ノ分ハ年度割十四年度迄ナリシモ今回ハ減額ノ結果拾参年度迄ニ割付ケケ
年ヲ短縮シタリ
- 二. 今回ノ調書ニハ前年提出ノ分ト比較ノ為単価ヲ朱記シアレドモ各費目毎ニ比較増減表ノ必要
アラバ其旨御指示相成度
- 三. 高梁川モ他川ト同様本年参月ノ物価労銀ヲ標準トスルトキハ別冊調書ノ通りナレドモ特ニ東
西用水組合工事ニ対シテ植原技師ヨリ別紙ノ如キ意見ヲモ同時提出アリ若シ此意見ノ方ヲ御
採用相成ルモノトスレバ別冊調書ニ比シテ二六八、五一九円ノ増額トナルヲ以テ同様式ノ調
書添付ノ必要有之候間其旨御指示相成度
- 四. 九頭龍川及ビ淀川下流ニ関シテハ別冊調書中ニ説明セリ

予算増額説明書

吉野、高梁、九頭龍川改修及淀川増補工事並ニ淀川附属物維持ハ物価騰貴ニ因ル予算増額ノ必
要アルヲ以テ大正九年参月ノ物価労銀ヲ基礎トシテ増額予算書ヲ調製シ同年六月（淀川増補ハ八
月）提出セシガ一般物価労銀ハ稍低落ノ趨勢ヲ呈シ（本年参月ノ物価労銀ハ昨年参月ニ比シ一般
人夫賃ハ一割乃至二割石材ハ一割余木材ハ二、三割「セメント」ハ参割乃至五割土地ハ約二、三
割低落但職工其他傭人給ハ變動ナシ）今後如何ナル程度ニ於テ安定ヲ保ツニ至ルベキヤ素ヨリ予
断シ難キモ今本年参月ノ物価労銀ヲ基礎トシテ更ニ拾年度以降ノ工事ニ対スル予算増加額ヲ調査
セシニ別冊ノ通りニシテ其結果ハ下ノ如シ

河川名	前年度調査 予算増加額	今回調査予算増加額			差引額	減額割合
		10年度予算 増額決定額	11年以降 所 要 額	計		
	円	円	円	円	円	
吉 野 川	3 965 284	0	2 926 285	2 926 285	1 038 999	2割6分
高 梁 川	2 776 225	1 100 000	1 184 642	2 284 642	491 583	1割8分
九 頭 龍 川	651 824	400 000	246 820	646 820	5 004	7厘
淀 川 増 補	7 730 984	584 994	5 478 051	6 063 045	1 667 939	2割2分
淀川附属物維持	40 000	15 000	乃 25 000 至 45 000	乃 40 000 至 60 000		

因ニ前年提出予算増額説明書ニハ九頭龍川ノ増加額ヲ六〇九、五八九円トセルモ道路法ニヨル
負担金ニ於テ四二、二三五円ヲ増額セラルルモノトシテ本表ニハ六五一、八二四円トセリ

- 一、前表減額割合ヲ見ルニ吉野川最モ其率大ニシテ九頭龍川最モ小ナリ蓋シ吉野川ハ土地買収費比較的多ク然モ地価ノ低下率大ナルニヨルベク九頭龍川ハ工事ノ大部分ハ新淺水川ノ開削ナルガ前年調査ノ際ハ掘削機ヲ使用シ大ニ迅速ニ然モ經濟的ニ進捗セシメ得ル見込ナリシモ其後實際掘削機ヲ使用シタル成績ニ徴スルニ土質不良且ツ湧水量予想外ニ多ク加之運搬距離漸次延長スル等ノ為メ予期ノ功程ヲ挙クルコト能ハス随テ他ノ部分ノ費用ハ相当ニ輕減シ得ル見込ナルモ前陳難工事ニ属スル區間ニ對シテハ前年調査ノ単価ニ比シ反テ著シク増額ノ必要ヲ生スルニ至レル結果全体ニ於テハ殆ント格別ノ減額ヲ見ル能ハサル次第ナリ
- 一、淀川付屬物維持費ハ主トシテ傭人給ナルカ故ニ格別ノ變動ナシ尚前年調査ノ際ハ數年後ニ付屬物トシテ維持スヘキモノハ其際更ニ増額ヲ要求スル見込ヲ以テ増額予算中ニ計上セザリシモ今回ハ第一期治水事業完成期迄ニ要スル維持費ヲ知ルニ便センタメ濁リ目下淀川下流工事ニ於テ築造中ノ六軒屋閘門ノミナラス將來淀川増補工事ニ於テ築造スベキ西島閘門及三栖閘門並ニ洗堰等ノ維持費ヲモ計上シタリ。又維持費ハ増額要求四万円既定額トノ合計六万五千元ニ對シ拾年度ニ於テ一万五千元ヲ増シ既定額トノ合計四万円トセラレタルモ右ニテハ堰桁ノ取替其他ノ修理或ハ浚渫等到底予期ノ如ク遂行スルコト能ハサルノミナラズ九年度ニ於テ臨時手当廃止ノタメ高梁川ヨリ借入レタル一万參千五百円ハ十一年度ニ於テ別ニ増額ヲ受クルニアラザレバ返還ノ途ナキ状態ニアリ
- 一、淀川下流改修工事ニ付テハ昨年同時貳拾万八千余円ノ増額ヲ要求セシ二十年度ニ於テ貳拾万円増額セラレタルニヨリ要求額ニ比シ八千余円ヲ減セラレタル次第ナルモ物価漸落ノ結果今後多少補修工事其他ノタメ増額必要ヲ生スル事アルトモ既定増額ノ範圍内ニ於テ支弁シ得ル見込ナルト且ツ該工事ハ十一年度ニ於テ完成ノ筈ナルヲ以テ旁這回ノ調査ニハ之ヲ省略セリ終リニ一言ノ必要アルハ別冊増額調書中大正九年度迄ノ支出額ニハ清算未済ニ属スル九年度支出額(十年四月以降ニ支払フベキ九年度所属ノ費用ハ見込ヲ以テ算入セリ)ヲ包含シ其他九年度末現在材料価格ノ概算ニヨリ計算シタル等ノタメ後日清算ノ上ハ多少ノ増減ヲ免レサルヘキコト之レナリ

吉野川改修工事予算増額調査書

一金四百四拾貳万九千七百七拾円也	大正九年度末残工事予算金
内	
金百五拾万參千四百八拾五円	大正九年度末現在既定予算残金
内 訳	
金百參拾參万九百八拾五円	大正九年度末現在予算残金
金拾七万貳千五百円	大正九年度末現在物品価格
差 引	
金貳百九拾貳万六千貳百八拾五円	拾壹年度以降ニ増額ヲ要スル分

拾壹年度以降ノ年度割

増額年度割	十一年度	一、〇〇〇、〇〇〇円
	十二年度	一、〇〇〇、〇〇〇円
	十三年度	九二六、二八五円
	計	二、九二六、二八五円

吉野川改修工事費予算増額比較表

費 目	既定予算高	大正9年度 迄支出高	大正9年度末 残工事更正予算高	差引過	摘要
	円	円	円	円	
浚 渫 費	1 038 100.000	817 161.553	419 100.000		内訳表ノ通り
堤 防 費	1 618 708.000	694 889.690	1 140 300.000		〃
護 岸 費	633 800.000	183 656.710	770 300.000		〃
制 水 費	165 000.000	0	0	165 000.000	第十運河ニ設計変更
掘 鑿 費	69 300.000	0	132 000.000	62 700.000	内訳表ノ通り
旧 堤 取 払 費	0	29 549.440	0	29 549.440	
特殊工事費	255 690.000	479 630.970	750 000.000	973 940.970	内訳表ノ通り
地 所 買 上 料	2 842 900.000	2 283 390.860	341 600.000	217 909.140	〃
家屋其他移転料	326 200.000	641 991.800	95 000.000	410 791.800	〃
補 償 金	9 300.000	116 708.300	60 000.000	167 408.300	〃
船舶機械用消耗品	0	456 027.750	0	456 027.750	
船舶及機械費	1 987 210.000	1 802 372.289	380 970.000	196 132.228	内訳表ノ通り
付帯工事費補助	120 000.000	35 462.000	21 000.000	63 538.000	〃
雑 費	323 792.000	518 173.353	319 500.000	513 881.353	
合 計	9 390 000.000	8 059 014.715	4 429 770.000	3 098 784.715	

予算内訳表

浚渫費

種 目	単位	大正9年度末残工事			適 要
		数 量	単 価	金 額	
陸 上 浚 渫	立坪	23 100	円 1.500	円 34 650.000	堤防ニ計上セルヲ以テ無代
〃	〃	131 500	1.500	197 250.000	
川 中 浚 渫	〃	93 600	2.000	187 200.000	
川 田 川 浚 渫	〃	34 000	0	0	
計		282 200		419 100.000	

備考

別宮川ニ於ケル川中浚渫ハ現予算ニ於テ大正九年度末ニ約一九六、一〇〇坪ヲ残セルモ出水ノ結果河床変動シ今日ノ状態ニテハ差当リ約七三、六〇〇坪ノ浚渫ヲ以テ足ル見込ナリ而シテ二〇、〇〇〇坪ハ第十運河ノ浚渫土量ニ属セリ朱記ノ単価ハ前年度調査ノ単価ナリ以下倣之

堤防費

種 目	単位	大正9年度末残工事			適 要
		数 量	単 価	金 額	
堤 防	立坪	24 300	円 1.800	円 43 740.000	施行中
〃	〃	152 700	1.800	274 860.000	未着手
〃	〃	155 400	1.800	279 720.000	右岸川島山崎間
〃	〃	100 200	1.800	180 360.000	右岸山崎川田間
〃	〃	26 900	2.400	64 560.000	左岸西林堤
〃	〃	11 300	1.800	20 340.000	川田川兩岸堤
〃	〃	115 300	2.400	276 720.000	善入寺左岸堤
計		586 100		1 140 300.000	

護岸費

種 目	単位	大正9年度末残工事			適 要
		数 量	単 価	金 額	
護 岸	面坪	4 800	円 16.000	円 76 800.000	施行中
〃	〃	10 600	16.000	169 600.000	未着手
〃	〃	17 750	16.000	284 000.000	右岸川島川田間
〃	〃	750	16.000	12 000.000	左岸西林堤
〃	〃	11 900	16.000	190 400.000	善入寺左岸堤
〃	〃	500	75.000	37 500.000	助任堤外地
計		46 300		770 300.000	

備考

助任堤外護岸ハ出水ノ為メ流勢変動シ漸次堤脚ニ接近スル傾向アルニヨリ本堤維持上施設ノ必要アルヲ認メ新ニ之ヲ計上セリ

掘鑿費

種 目	単位	大正9年度末残工事			適 要
		数 量	単 価	金 額	
左岸西林岩切 計	立坪	11 000	円 12.000	円 132 000.000 132 000.000	

特種工事費

種 目	単位	大正9年度末残工事			適 要
		数 量	単 価	金 額	
第 十 樋 門	個所	1	円	円 354 000.000	施工中
榎瀬江古川樋門	〃	1		132 000.000	未着手
宮 島 川 樋 門	〃	1		12 000.000	門扉
沖 洲 川 樋 門	〃	1		12 000.000	〃
床 固 及 水 路				32 000.000	鮎食川左岸堤欠個所復旧ニ代 ルベキ施設
樋 門	個所	5	24 000.000	120 000.000	岩津, 川島, 桑, 山崎, 川田
〃	〃	2	28 000.000	56 000.000	八幡, 柿原
橋 梁		1		32 000.000	川田県道に架設
計				750 000.000	

付帯工事費補助

種 目	単位	大正9年度末残工事			適 要
		数 量	単 価	金 額	
樋 門 橋 梁 計	個所 "	1	円	円	江川樋門未着手 第十運河架設 "
		1		16 000.000	
				5 000.000	
				21 000.000	

地所買上料

種 目	単位	大正9年度末現在			適 要
		数 量	単 価	金 額	
土地及物件移転 土 地 計	反		円	円	本川筋川島ヨリ以下ノ分 善入寺左岸堤敷地 上島西林間川田川トモ
				6 000.000	
				130 000.000	
		514	400.000	205 600.000	
				341 600.000	

家屋基他移転料

種 目	単位	大正9年度末現在			適 要
		数 量	単 価	金 額	
家 屋 移 転 地上物件移転 計	建坪	3 000	円 30.000	円 90 000.000	川島, 西林間 "
				5 000.000	
				95 000.000	

補償金

種 目	単位	大正9年度末現在			適 要
		数 量	単 価	金 額	
認 定 地 補 償 計	反	300	円 200.000	円 60 000.000	川島, 西林間
				60 000.000	

船舶及機械費

種 目	単位	大正9年度末残工事			適 要
		数 量	単 価	金 額	
修 理 " " 計	立坪	598 500	円 0.300	円 179 550.000	機械運搬ニヨル工事 浚渫船曳船使用工事 「トロ」使用工事
	"	93 600	2.000	187 200.000	
	"	142 200	0.100	14 220.000	
				380 970.000	

発第一〇参号

大正十年五月六日

堀田内務省土木局長

岡崎大阪土木主張所長殿

大正十一年度河川改修費（及河川改良費）予算ノ儀差向左記ノ通り増額要求ノ積リニ候条右ニ依リ目論予算書地方別予算内訳書（増額ノミノ内訳書及増額ト既定額トヲ合セタルモノノ内訳書）至急調製来ルニ十五日迄ニ御提出相成度

追テ本文予算増額ニ付テハ物価騰貴ニ基ク工費不足ノ内容ヲ評悉シ得ル様数量及単価ニ関スル詳細ノ説明書等添付相成度

記

河川名	河川改修費増加請求額
九頭龍川	二四六、八二〇円
高梁川	四〇〇、〇〇〇
吉野川	八〇〇、〇〇〇
加古川	五〇〇、〇〇〇
淀維持	参参、五〇〇（既定額四〇、〇〇〇円）
淀川改修増補費	六〇〇、〇〇〇
内事務費	一五、〇〇六（本書用ノ内訳ハ土木局ニテ調製ス）
工事費	五八四、九九四
備考	十年度増額内訳左ノ通り
京都府下工事増	五二〇、〇〇〇円
大阪府下工事増	六四、九九四
事務費	一五、〇〇六
計	六〇〇、〇〇〇

大正十年八月提出第参回取調ノ分

（今回別表年度割ノ通り増額決定ニ付予算書提出方局長ヨリノ照会ニ対シ調成ノ分）

工発第参参号

大正拾年七月拾九日

九頭龍，高梁川，吉野川，加古川，淀川増補ノ各工区主任照会案伺

案

年 月 日

係 名

宛（各通）

（何々）川改修費予算増額ノ内容説明ノ關係上各費目ノ大正九年度ニ於ケル実施ノ単価及現今ニ於ケル実施ノ単価等調査方土木局長ヨリ照会来候間至急御取調ノ上御回報有之度此段及照会候也

発第一五五号

大正十年七月十六日

堀田内務省土木局長

岡崎大阪土木主張所長殿

貴所所属河川改修費大正十一年度以降予算増調先般御提出相成居候処今回別表年度割ノ通り増額請求ノコトニ一応決定致候ニ付右ニ依リ更ニ工費増額予算内訳書調製至急御差出相成候様致度

追テ増額内容説明ノ関係上各費目ノ物価騰貴以前ノ工費及単価大正八年度増額請求ノ工費及単価大正十年度増額請求ノ工費及単価先般増額請求ノ工費及単価本文照会ノ増額工費及単価並ニ大正九年度ニ於ケル実施ノ単価及現今ニ於ケル実施ノ単価等ヲ対照シ説明ニ便ナラシメラレ度

又本文増額中設計変更追加ニ因ルモノハ各工事毎ニ其理由ヲモ併セ詳細説明ヲ付セラレ度尚淀川付属物維持費ハ先般御申出ニ係ル十一年度及十二年度ニ於ケル維持費新規増額ヲ要スルモノノ内訳調書御差出相成度

調

年度 河川名	大正 11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	計
九頭竜川	246 820		442 717								246 820
高梁川	400 000	550 000									1 392 717
吉野川	800 000	800 000	600 000	426 285							2 626 285
加古川	500 000	500 000	500 000	550 000	550 000	400 000					3 000 000
円山川	600 000	700 000	600 000	600 000	600 000	600 000	400 000	400 000			4 500 000
既定額			100 000	100 000	100 000	100 000	100 000	160 000	340 000	200 000	1 200 000
追加額	600 000	700 000	700 000	700 000	700 000	700 000	500 000	560 000	340 000	200 000	5 700 000
計	566 000	660 000	660 000	660 000	660 000	660 000	472 000	529 000	321 000	189 000	5 377 000
工事費	34 000	40 000	40 000	40 000	40 000	40 000	38 000	31 000	19 000	11 000	3 230 000
内 事務費	1 000 000	970 000			1 000 000						1 970 000
既定額	600 000	630 000	1 600 000	1 600 000							5 430 000
追加額											
計	1 600 000	1 600 000	1 600 000	1 600 000	1 000 000						7 400 000
工事費	1 509 000	1 509 000	1 509 000	1 590 000	945 000						6 981 000
内 事務費	91 000	91 000	91 000	91 000	55 000						419 000

増額予算修正ニ関スル説明書

当所所属河川改修費ニ対シ今回大正拾壹年度以降ノ年度割ヲ内定セラレ之ニ依リ更ニ予算内訳書ヲ調製提出スヘク御照会ニ接セリ

今之ヲ当所ニ於テ本年参月ノ物価労銀ヲ基礎トシテ編製提出シタル増額予算ニ対比スルニ左表ノ如ク

因ニ拾壹年度以降増加要求額ガ本年四月提出増額予算調書ト符合セサルハ残品代其他九年度支出額等清算ノ結果ニ因ル

九頭龍以外ノ河川ニ於ケル増加内定額ハ当所ノ要求額ニ比シ著シク削減セラレタル結果将来物価労銀低落セハ格別然ラサル以上ハ各河川共既定計画ヲ遂行スル能ハサルニ至リ頗ル遺憾トスル処ナリ然レトモ財政ノ関係上到底如上ノ削減ヲ免カレズトセバ之ヲ各費目ニ涉リ案分比例ヲ以テ減額スルカ又ハ工事ノ一部ヲ変更廃止スル等ノ手段ニ依ル外ナシ然ルニ一般ノ物価労銀ハ本年四月提出修正増額予算編製以来殆ンド変動ナク近来ニ至リ動モスレハ却テ昂騰ノ傾向ナシトセス故ニ現今ノ経済状態ヨリ觀ルトキハ工事ノ単価ニ於テ削減ヲ加フル余地ナキニヨリ勢ヒ各河川ニ付テ其計画本来ノ目的ヲ没却セサル範圍ニ於テ差向キ比較的重要ナラサル工事ヲ廃止若クハ変更シテ其費用ヲ節約スルノ方法ヲ講スル外ナク今此方針ニヨリ調査講究ノ結果大体本年四月提出セシ増額予算ニ対シ左記ノ如ク削減ス加ヘ以テ内定額ニ符合セシムルコトトセリ然レトモ元来孰レモ不必要ノ工事ニアラサルヲ以テ後日再ヒ予算増額ノ必要ヲ生スルニ至ルヘキハ免カレ難キ結果ナルコトヲ爰ニ予メ言明セントス

吉野川

一. 築堤費	九年度末残工事予算		
		一、一四〇、参〇〇円中	六四、五六〇円減
一. 浚渫費	九年度末残工事予算		
	陸上浚渫	二三一、九〇〇円中	一三七、二五〇円減
	川中浚渫	一八七、二〇〇円中	四八、四〇〇円減
	外ニ雜費		六円減

左岸上流堤防ノ一部及善入寺島並ニ河口附近浚渫等ニ於テ前記ノ如ク削減ス

高梁川

一. 突堤費	總予算	二八八、参五一円中	一二七、九七八円減
--------	-----	-----------	-----------

右ハ民間企業ニ対シ先般認可セラレタル同川河口右岸埋立地堤防ノ一部ハ恰モ当所計画突堤ノ位置ニ相当スルヲ以テ之ヲ利用スルモノト假定シ前記ノ如ク削減ス

加古川

一. 土地買収費	更正予算	一、四六〇、一一〇円中	一〇〇、〇〇〇円減
一. 掘削費	更正予算	一、五六五、二〇〇円中	四九、九二〇円減

一、築堤費 更正予算	一、五九八、二〇〇円中	四九、九八〇円減
一、浚渫費 更正予算	三五八、六五〇円中	五〇、一〇〇円減
一、護岸制費 更正予算	四五八、四〇〇円中	二五〇、〇〇〇円減

同川改修区域中上流ノ一部及河口ニ於ケル浚渫其他護岸制水費ニ於テ前記ノ如ク削減ス

同川改修ハ目下実施計画調査中ナルヲ以テ具体的ニ取捨ヲ加フルコト困難ナレトモ大体ニ於テ前記各費目ニ涉リ削減セントス

淀川増補

一、制水費 九年度残工事予算

一、〇二一、二七五円（大阪）中 二一五、四九九円減

一、掘鑿費 〃 五八六、五〇〇円（大阪）中 一七〇、〇〇〇円減

従来低水工事ニ於テ施設セル制水工事ノ延長ニ當テタル制水費及掘鑿費ノ一部ニ於テ前記ノ如ク削減ス

円山川

一、掘鑿費 更正予定	九八八、〇〇〇円中	七五、〇〇〇円減
一、障碍物除却費 〃	一一〇、〇〇〇円中	六〇、〇〇〇円減
一、護岸水制費 〃	三四〇、〇〇〇円中	九三、〇〇〇円減
一、船舶機械費 〃	七九三、五〇〇円中	一二〇、〇〇〇円減
一、同修理費 〃	二七三、二〇〇円中	二五、〇〇〇円減

以上

尚各河川ニ於ケル工事単価ノ比較ハ別表ノ如シ尤モ御通牒ニヨレバ「現今ノ実施単価」ヲ表示スベキ筈ナレトモ本年度ニ於ケル施工期間短ク然カモ目下ノ經濟狀態ハ前陳ノ如ク加フルニ本年ハ降雨極メテ多ク其ノ結果現今ノ実施単価ハ比較的高ク到底比準トシ難キヲ以テ之レガ表示ヲ省略セリ

又九年度ノ実施単価ハ一見昨年參月及本年參月ノ物価勞銀ヲ基準トセル各予算単価ノ中間ニアルベキモノノ如ク考ヘラルルモ事實ハ其施行ノ時期及施行ノ難易等ニヨリ単価ニ著シキ相違アリ要スルニ施工数ヶ年ニ跨ル工事全部ノ予算単価ト単ニ一ヶ年間ノ実施単価トハ決シテ符合スヘキモノニアラザルコトヲ付言セントス

吉野川改修工事予算増額調査書

一金四百拾九万五千五百九拾六円也

大正九年度末残工事予算金

内

金百五拾六万九千参百拾壹円也

大正九年度末現在既定予算残金

内 訳

金百参拾四万七千貳拾八円也

大正九年度末現在予算残金

金貳拾貳万貳千貳百八拾参円也

大正九年度末現在物品価格

差 引

金貳百六拾貳万六千貳百八拾五円也

拾壹年度以降ニ増額ヲ要スル分

備 考

本表大正九年度末現在予算残金及同現在物品価格ノ十年四月提出セシ分ト符合セザルハ精算ノ結果ニヨル

吉野川改修工事費予算増額比較表

費 目	既定予算高	大正 9 年度 迄支出高	大正 9 年度末残 工事更正予算高	差引過不足	摘 要
	円	円	円	円	
浚 渫 費	1 038 100.000	816 207.353	234 776.158	12 883.511	内訳表の通り
堤 防 費	1 618 708.000	694 239.690	1 078 497.762	154 029.452	〃
護 岸 費	633 800.000	183 656.710	770 300.000	320 156.710	〃
制 水 費	165 000.000	0	0	165 000.00	第十運河に設計変更
掘 鑿 費	69 300.000	0	132 000.000	62 700.000	内訳表ノ通り
旧堤取払費	0	29 549.440	0	29 549.440	
特殊工事費	255 690.000	475 767.510	753 863.460	973 940.970	内訳表ノ通り
地所買上料	2 842 900.000	2 283 329.460	341 661.400	217 909.140	〃
家屋其他移転料	326 200.000	641 991.800	95 000.000	410 791.800	〃
補 償 金	9 300.000	116 708.300	60 000.000	167 408.300	〃
船舶機械用消耗品	0	453 548.030	0	453 548.030	
船舶及機械費	1 987 210.000	1 795 747.414	387 594.875	196 132.289	内訳表ノ通り
付帯工事費補助	120 000.000	35 462.000	21 000.000	63 538.000	〃
雑 費	323 792.000	516 764.633	320 902.720	513 875.353	
合 計	9 390 000.000	8 042 972.340	4 195 596.375	2 848 568.715	
内				222 283.000	9年度末現在物品 価格
差 引				2 626 285.715	11年度以降ニ増額 ヲ要スル分

備考 本表9年度迄支出額ノ10年4月提出セシ分ト符合セザルハ見込額ト精算額トノ結果ニヨル

予算内訳表

浚渫費

種 目	単位	大正9年度末残工事			摘 要
		数 量	単 価	金 額	
陸 上 浚 渫	立坪	23 100	円 1.500	円 34 650.000	施行中
〃	〃	40 000	1.500	60 000.000	未着手
川 中 浚 渫	〃	69 400	2.000	138 800.000	
川 田 川 浚 渫	〃	34 000		—	堤防に計上セルヲ以テ無代
計		166 500		233 450.000	
外 二				954.200	是ハ九年度迄支払見込額ト精算額トノ差額ニテ10年度以降所要額ニ加算スベキ分
				371.958	是ハ消耗品ノ前同断ノ分ヲ按分セシモノ同上
合 計				234 776.158	

堤防費

種 目	単位	大正9年度末残工事			摘 要
		数 量	単 価	金 額	
堤 防	立坪	24 300	円 1.800	円 43 740.000	施行中
〃	〃	152 700	1.800	274 860.000	未着手
〃	〃	155 400	1.800	279 720.000	右岸川島山崎間
〃	〃	100 200	1.800	180 360.000	右岸山崎川田間
〃	〃	11 300	1.800	20 340.000	川田川両岸堤
〃	〃	115 300	2.400	276 720.000	善入寺左岸堤
計		559 200		1 075 740.000	
外 二				650.000	是ハ浚渫工ノ外金ニ対スル摘要ニ同ジ
				2 107.762	
合 計				1 078 497.762	

護岸費

種 目	単位	大正9年度末残工事			摘 要
		数 量	単 価	金 額	
護 岸	面坪	4 800	円 16.000	円 76 800.000	施行中
〃	〃	10 600	16.000	169 600.000	未着手
〃	〃	17 750	16.000	284 000.000	右岸川島川田間
〃	〃	750	16.000	12 000.000	左岸西林堤
〃	〃	11 900	16.000	190 400.000	善入寺左岸堤
		500	75.000	37 500.000	助任堤外地
計		46 300		770 300.000	

掘鑿費

種 目	単位	大正9年度末残工事			摘 要
		数 量	単 価	金 額	
左岸西林岩切	立坪	11 000	円 12.000	円 132 000.000	
計				132 000.000	

特種工事費

種 目	単位	大正9年度末残工事			摘 要
		数 量	単 価	金 額	
第 十 樋 門	個所	1	円	円	施工中
榎瀬江古川樋門	〃	1		354 000.000	未着手
宮 島 川 樋 門	〃	1		132 000.000	門扉
沖 洲 川 樋 門	〃	1		12 000.000	〃
床 固 及 水 路		1		12 000.000	鮎食川左岸堤欠壊個所復旧ニ代ルベキ施設
樋	門	5	24 000.000	120 000.000	岩津, 川島, 桑, 山崎, 川田
〃	〃	2	28 000.000	56 000.000	八幡, 柿原
橋	梁	1		32 000.000	川田県道に架設
計				750 000.000	
外	二			3 863.460	是ハ浚渫工ノ外金ニ対スル摘要ニ同ジ
合	計			753 863.460	

付帯工事費補助

種 目	単位	大正9年度末残工事			摘 要
		数 量	単 価	金 額	
樋	門	1	円	円	江川樋門未着手
橋	梁	1		16 000.000	第十運河架設着手
計				5 000.000	
				21 000.000	

地所買上料

種 目	単位	大正9年度末残工事			摘 要
		数 量	単 価	金 額	
土地及物件移転			円	円	本川筋川島ヨリ以下ノ分
土	反	514	400.000	6 000.000	善入寺左岸堤敷地
計				130 000.000	上島西林間川田川トモ
外	二			205 600.000	是ハ浚渫工ノ外金ニ対スル摘要ニ同ジ
合	計			341 600.000	
				61.400	
				341 661.400	

家屋其他移転料

種 目	単位	大正9年度末残工事			摘 要
		数 量	単 価	金 額	
家 屋 移 転	建坪	3 000	円	円	川島, 西林間
地上物件移転			30.000	90 000.000	〃
計				5 000.000	
				95 000.000	

補償金

種 目	単位	大正9年度末残工事			摘 要
		数 量	単 価	金 額	
認 定 地 補 償	反	300	円	円	川島, 西林間
計			200.000	60 000.000	
				60 000.000	

船舶及機械費

種 目	単 位	大正 9 年度末残工事			摘 要
		数 量	単 価	金 額	
修 理	立坪	598 500	円 0.300	円 179 550.000	機械運搬ニヨル工事 浚渫船曳船使用工事 「トロ」使用工事
〃	〃	93 600	2.000	187 200.000	
〃	〃	142 200	0.100	14 220.000	
計				380 970.000	
外 二				6 624.875	是ハ浚渫工ノ外金ニ対スル摘要ニ 同ジ
合 計				387 594.875	

雑費

種 目	単 位	大正 9 年度末残工事			摘 要
		数 量	単 価	金 額	
雑 費			円	円	
計				319 500.000 319 500.000	
外 二				1 408.720	是ハ浚渫工ノ外金ニ対スル摘要ニ 予算削減額 同ジ
合 計				6.000 320 902.720	

大正十年十一月十四日

堀田内務省土木局長

岡崎大阪土木出張所長殿

治水事業費及河川改良費増額概算決定ノ件通牒

標記予算増額ノ義予テ御申出相成居候處今般左記ノ通り増額ノ事ニ概算決定セラレ候条右御承
知ノ上本年度及来年度ニ於ケル操業ノ御手配相成度

記

九頭龍川改修費

大正十一年度追加額貳拾四万六千八百貳拾円

高梁川改修費

大正十一年度追加額四拾万円

吉野川改修費

大正十一年度追加額八拾万円

淀川附属物維持費

大正十一年度追加額参万参千五百円

其他ハ全部(淀川流域砂防費共)増額見合セ

以上

内務省発土第二一号

大正十一年三月三十一日

堀田内務省土木局長

岡崎大阪土木出張所長殿

貴所所属治水事業費ノ儀大正十一年度ニ於テ左記ノ通り増額決定相成候条右様御承知ノ上工事施行相成度

記

高梁川改修費	金四拾万円
吉野川改修費	金八拾万円
九頭龍川改修費	金貳拾四万六千八百貳拾円
木曾川付属物及水路維持費	金四万二千元
淀川付属物及水路維持費	金参万参千五百円

追テ伝法第二閘門及六軒屋洗堰サイホンノ維持ニツイテハ大阪府ニ於テ近ク付属物ニ認定告示ノ筈ニ付右告示ヲ待ツテ更ニ命令相成筈ニ有之候

発甲第一号

大正十二年二月十日

長谷川内務省土木局長

岡崎大阪土木出張所長殿

河川改修費予算年度割変更工事直轄施行ノ件通牒

貴所所属河川改修費予算不足額追加ノ予テ御申出相成居候処大正十二年度以降別表ノ通年度割変更施行ノ見込ヲ以テ予算要求相成尚従来工費二分ノ一ヲ補助シ事業ヲ直接施行セル河川ノ改修ハ来年度以降国庫負担率ヲ河川法第二十六条第一項本文ノミニ依ル限度ニ高上シ国ノ直轄工事トシテ引続キ之ヲ施行シ又新ニ天龍、紀ノ、信濃上流、筑後、千代、芦田ノ六ヶ川改修工事並利根、渡良瀬、両川維持工事施行ノ見込ニ候条併テ御承知相成度

追テ将来河川改修費ノ増額ハ設計ノ追加変更等ノ事由ニ基クモノノ外ハ財政緊縮ノ挙追加増額極テ困難ニ付右予算ノ範囲内ニ於テ差繰リ事業ヲ遂行セラルル様予メ御含置相成度

内務省発土第二七号

大正十二年四月十二日

長谷川内務省土木局長

岡崎大阪土木出張所長殿

河川改良工事直轄施行並予算年度割変更ノ件依命通牒

河川法第八条ニ依リ貴管内紀ノ川、円山川改良工事ヲ大正十二年度以降当省ニ於テ直轄施行ノ件本日告示相成候条別紙予算書並工事計画説明書ニ基キ実施可相成

追テ貴所所属治水事業費予算年度割ハ本年二月十日発甲第一号通牒ノ通決定相成候条御了知相成度尚大正十二年度以降各年度別工事費内訳表調製御提出相成度

(別表ハ大正十二年一月調分)

発二一六号

大正十四年六月八日

吉野川筋阿波郡市場町及伊沢村地内築堤施工方稟申案左ニ相伺候也

案

年 月 日

所 長 名

内 務 大 臣 宛

吉野川改修工事築堤追加施行ノ件稟申

吉野川筋左岸阿波郡柿島村ヨリ上流林村ニ至ル無堤区間ニ対シテハ当初築堤ノ計画ナカリシヲ大正八年柿島村ヨリ市場町ニ至ル間及林村地内ニ築堤ヲ追加施工ノコトト相成候得共中間ニ介在スル市場町ト伊沢村ハ水害地域特ニ広大ニハアラサレトモ日開谷川大久保谷川ノ三支川ノ合流スルアリテ一朝洪水ニ際シテハ本川支川両者ノ脅威ヲ受ケ且ツ地勢激流ニ直回スルヲ以テ耕地ノ荒廢甚シク人家ニモ危険ヲ及ホシ常ニ地方人心不安ノ因ヲナシツツアルヲ以テ地方民ハ依然改修ノ惠澤ニ均霑セストテ從來再三築堤施設ノ義熱心ニ陳情シ来リタルコトモ有之候付テハ本川改修工事モ今後一ヶ年余ニシテ完成ヲ見ントシ対岸並ニ上下流ノ築堤モ概ネ竣功シ將ニ改修ノ効果ヲ見ントスルニ際シ此地域ノ被害ヲ軽減スルノ適當ナル施設ヲ為スノ必要アルモノト被存候ニ付テハ前記三支川合流個所ノ下流ニ夫々翼堤ヲ築設シ以テ直接上流ヨリ激奔スル水勢ノ侵入ヲ防キ且ツ必要ノ護岸工ヲ施コシ以テ沿岸ノ欠潰ヲ防止スルモノトシ所要工費ヲ見積候處別紙ノ通り總計九万參千円ニシテ右ハ既定改修費ノ範囲内ニ於テ支弁シ得ル見込ニ候条該工事追加施行ノ義御承認相成度此段稟申候也

(別紙)

吉野川改修工事築堤追加施工所要工事予算書

一金九万参千円

内

吉野川改修工事築堤追加施工

摘 要	工 種	数 量	工 費	備 考
市場堤	築 堤	30 000m ³	15 000 円	
1ヵ所	護 岸	長 600m	15 000	
延長800m	用 地		5 000	
	計		35 000	
伊澤堤	築 堤	56 000m ³	28 000	
2ヵ所	護 岸	長 800m	12 000	
延長1300m	用 地		18 000	
	計		58 000	
合 計			93 000	

収第四〇六号

大正十年八月三日

土木局長回答案伺

案

年 月 日

所 長 名

土 木 局 長 宛

客月十六日付発第一五五号ヲ以テ当所所属河川改修費大正十一年度以降予算増額調書修正提出方御照会ニヨリ別冊予算調書及説明書及送付候

追テ今回増額予算削減ノ結果曩ニ提出セシ十一年度予算書中左記ノ通り変更ノ必要ヲ生シ候間可然御訂正ヲ煩シ度候

河川名	費 目	増	減	理 由
淀川増補	付帯工事費補助	—	京都 40 994	11年度増加額600 000円中工事費ニ於テ40 994 円ヲ減セラレタルニヨル
吉野川	浚渫(陸上) 護岸	— 48 000	48 000	11年度予算書額ニハ異動ナキモ総予算減額ノ結果陸上浚渫ヲ廃シ護岸工事ヲ増加(3 000面坪)セントス

尚圓山川改修費ニ対スル増額モ今回内定セラレ候ニ付十一年度予算書調製提出致候

吉野川改修工事一部追加ノ件

一、阿波郡市場町及伊沢村地内築堤

理 由

吉野川北岸ノ内阿波郡柿島村ヨリ上流林村ニ至ル無堤区間ニ対シテハ当初築堤ノ計画ナカリシヲ其後柿島村ヨリ市場町ニ至ル間及林村地内ニ築堤ヲ追加施工スルコトナレリ然ルニ其中間ニ介在スル市場町ト伊沢村ハ依然改修ノ恵沢ニ均霑セサルヲ以テ従来地元ヨリ再三築堤施設ニ就テ熱心ナル陳情アリ此区間ハ水害地域特ニ広大ニハアラサレトモ日開谷川大久保谷川伊沢谷川ノ三支川ノ合流スルアリ一朝洪水ニ際シテハ本川支川兩者ノ脅威ヲ受ケ且ツ地形激流ニ直面スルヲ以テ耕地ノ荒廢甚シク人家ニモ危険ヲ及ホシ常ニ地方人心不安ノ因ヲナセリ吉野川改修工事ハ今後一ヶ年余ニシテ完成ヲ見ントシ対岸並ニ上下流ノ築堤概ネ浚功セリ此際工費ノ許ス範囲内ニ於テ適當ナル施設ヲ為シ如上被害ヲ軽減スルノ方法ヲ講スルヲ必要ト認ム

方 法

前記三支川合流箇所ノ下流ニ夫々翼堤ヲ築設シ以テ直接上流ヨリ激奔スル水勢ノ侵入ヲ防キ且ツ必要ノ御岸工ヲ施シテ沼岸ノ欠潰ヲ止ム(別紙平面図参照)

工 費

市場堤	一ヶ所	延長	八〇〇米	
築堤費	三〇,〇〇〇	立方米		一五,〇〇〇円
護岸	長六〇〇米			一五,〇〇〇円
用地				五,〇〇〇円
計				三五,〇〇〇円
伊沢堤	二ヶ所	延長	一,三〇〇米	
築堤	五六,〇〇〇	立方米		二八,〇〇〇円
護岸	長八〇〇米			一二,〇〇〇円
用地				一八,〇〇〇円
計				五八,〇〇〇円
合 計				九三,〇〇〇円

本工費ハ既定予算ノ範囲内ニ於テ支弁ス

大正十四年五月十六日

吉野川上流部日開谷川外二ヶ川注流口下流ニ築堤施工承認伺ニ関シ書類調成方照会

案

本日所長ヨリ吉野川左岸伊沢谷大久保谷日開谷川各注流口下流部ニ堤防築設ノ義ニ付キ一応大臣へ施工承認方稟伺手續可致様被命候処右手続上左記ノ事項調書並図面必要有之候間至急御調成御送付相煩度及御依頼候

年 月 日

工 務 係 長

吉野川改修事務所

主任中村技師宛

一. 築堤ニ関スル計画予算書

右築堤ニ要スル工費ハ既定総工費ノ範囲内ニテ支弁シ得ル見込ノ由ナルモ稟伺ニハ一応所要経費ヲ明示スルヲ要スルモノト被考候間御調製相煩度

二. 築堤ヲ必要トスル理由書

当初計画ニ於テハ柿原以上林迄ノ無堤地ハ地方施設ニ候ツモノナリシヲ例ノ物価騰貴増額ノ際ニ全部之委スルヲ得ストシテ柿島ヨリ香美迄ノ新築堤ヲ追加セラレタルニ今其上流部三ヶ所ニ築設スルニ付テハ之ヲ必要トスルノ理由ヲ述クル必要アル様被考候間平面図（可成ハ三千分ノ一）添付理由書御調製相煩度

三. 其他御気付ノ事項

追テ川敷占用禁止並築堤用地買収ニ関スル御申越有之候得共本件稟伺御承認アル迄保留致シ候間御含置被下度申添候

内務省出土第三九号

大正十四年六月廿六日

内務省土木局長

内務省大阪土木出張所長殿

吉野川改修工事築堤追加施行ノ件通牒

大正十四年六月八日発第二一六号ヲ以テ御稟申ニ係ル標記ノ件本日認可相成候

発第二一六号

大正十四年六月三十日

中村技師へ通知案伺

案

年 月 日

係 名

宛

吉野川改修工事築堤追加施行ノ件

標記ニ関シ別紙写ノ通り大臣へ稟申相成候処土木局長ヨリ認可通牒有之候條御承知相成度此段及通知候也

内務省出士第二一号

昭和二年三月二十九日

内務省土木局長

大阪土木出張所長殿

吉野川改修工事施行年限延長ノ件依命通牒

本年三月二十三日付発第七七号ヲ以テ御稟申相成候標記ノ件認可相成候

発第七七号

昭和二年三月二十三日

吉野川改修工事施行期限延長ニ関スル義左案ヲ以テ内務大臣へ御稟申相成可然矣

案

年 月 日

所 長 名

内 務 大 臣 宛

吉野川改修工事施行年限延長ノ件稟申

吉野川改修工事ノ施行年限ハ昭和元年度ト相成リ居リ候処該工事ハ既ニ築堤掘削及特種工事等
其大畧ヲ竣成シ目下主トシテ護岸新設及補修工事ヲ行ヒ其他全部ノ完了ヲ取急キ鋭意進涉中ニ有
之候得共到底年度内ニ完成難致候条昭和二年度迄一ヶ年度延長ノ義御詮議相成度別紙工費支出調
書添付此段稟申候也

吉野川改修工費支出調書

科 目	計画予算額	支出済額			残 額	備 考
		前年度迄	本年度(2月迄)	計		
	円	円	円	円	円	
吉野川改修費	12 016 285	11 462 031.804	166 306.440	11 628 338.344	387 946.656	残額ノ内29 万円ハ他河 川へ流用貸

発第三二号

昭和貳年四月四日

吉野川改修工事施行年限延長ノ件認可相成候条吉野川改修事務所主任へ左案通知相成可然矣

案

年 月 日

係 名

吉野川改修事務所主任

田中技師宛

吉野川改修工事施行年限延長ノ件

標記ノ件伺相成居候処別紙写ノ通り認可相成候条此段及通知候也(稟伺写共添付)